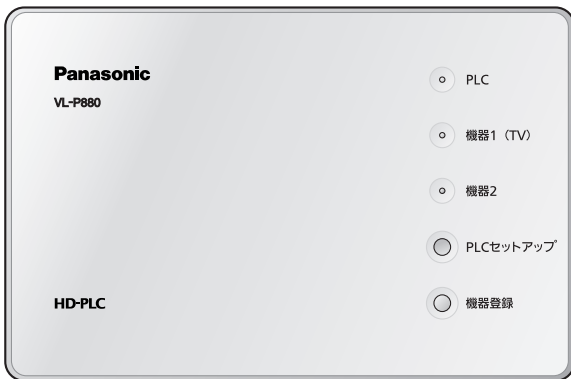
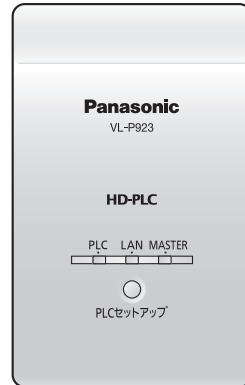
Panasonic®

取扱説明書

ドアホン用PLCアダプターパック

品番 VL-SP880（ブイエル エスピー）

ドアホン用PLCアダプター：VL-P880
PLCアダプター（VL-SP880同梱用）：VL-P923

ご使用の前に
設置・接続
その他の機能
必要なとき
困ったとき

ドアホン用PLCアダプター

PLCアダプター（VL-SP880同梱用）

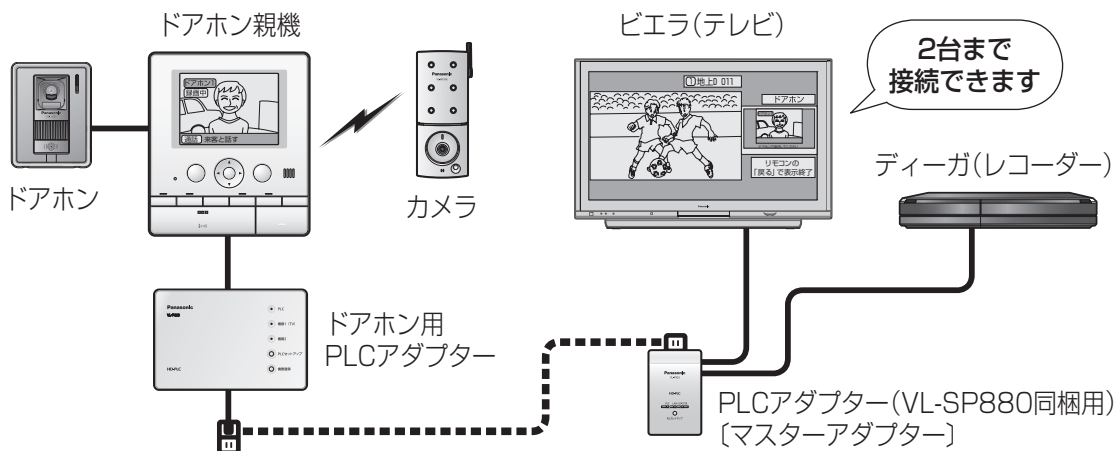
HD-PLC™

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■**ご使用前に「安全上のご注意」（6～9ページ）を必ずお読みください。**
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

特長

■ ドアホンやカメラの画像をビエラ（テレビ）で表示、ディーガ（レコーダー）で録画

※イラストはイメージです。
　テレビとレコーダーは組み合わせて利用できます。詳しくは3ページの「機器の組み合わせ」や22～25ページの「接続例」を参照してください。

お知らせ

- 電力線の使用状態によっては、使用できない電源コンセントもあります。
- 設置場所や設置条件によっては、ドアホン親機に映る画像、テレビに映る画像、レコーダーに録画された画像が異なって見えます。
- すでにPLCアダプターをご使用の場合は、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.co.jp/pcc/cs/faq/tvdfon/faq_la.html）を参照してください。

接続できる機器について

本製品は、下記の松下電器産業（株）製 テレビドアホンおよびビエラ（テレビ）／ディーガ（レコーダー）に接続できます。（2007年11月現在）

テレビドアホン

VL-SW100K	VL-SW105K
VL-SW100MK	VL-SW130K
VL-SW102AK	VL-SV130K
VL-SW102K	VL-SW150K
VL-SW104K	VL-SW155K
VL-SV104K	

ビエラ（テレビ）

■ 地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ

TH-65PZ750SK	TH-50PZ750SK
TH-58PZ750SK	TH-42PZ750SK

ディーガ（レコーダー）

■ DVDレコーダー／ブルーレイディスクレコーダー

DMR-XW300	DMR-BW900
DMR-XW200V	DMR-BW800
DMR-XW100	DMR-BW700

お知らせ

- 接続できる機器についての最新情報は、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.co.jp/pcc/cs/faq/tvdfon/faq_la.html）を参照してください。

機器の組み合わせについて

ドアホン用PLCアダプターは、下記のようにテレビ（2台まで）とレコーダーを組み合わせて利用できます。（22～25ページの接続図は、下記の組み合わせ⑤の場合を例に説明をしています。）

	利用内容	ドアホン用PLCアダプターパック	テレビ（1台目）※1	テレビ（2台目）※1	レコーダー※1
組み合わせ①	ドアホン／カメラの映像を ●テレビ（1台）に表示		○		
組み合わせ②	ドアホン／カメラの映像を ●テレビ（2台）に表示		○	○	
組み合わせ③	ドアホン／カメラの映像を ●レコーダーで録画				○ ※2
組み合わせ④	ドアホン／カメラの映像を ●テレビ（1台）で表示 ●レコーダーで録画		○		○
組み合わせ⑤	ドアホン／カメラの映像を ●テレビ（2台）で表示 ●レコーダーで録画		○	○	○

※1　接続できるテレビ／レコーダーについては2ページをご覧ください。
※2　再生には、別にレコーダーの再生ができるテレビとの接続が必要です。

取扱説明書(本書)の表記について

本書内での表記について

- 本書では、ドアホン用PLCアダプターとPLCアダプター(VL-SP880同梱用)の両方を表す場合、「アダプター」と表記しています。
- 本書では、ドアホン用PLCアダプターを「ターミナルアダプター」と表記している場合があります。
- 本書では、PLCアダプター(VL-SP880同梱用)を「マスターアダプター」と表記している場合があります。
- 本書では、PLC用ノイズフィルター(VL-SP880同梱用)を「ノイズフィルター」と表記している場合があります。
- 本書では、PLCアダプター(VL-SP880同梱用)の本体表示「MASTER」/「TERMINAL」を、「マスター」/「ターミナル」と表記している場合があります。
- 本書で使用しているドアホン親機のイラストは、VL-SW150Kを代表として記載しています。また、テレビのイラストはTH-65PZ750SK、レコーダーのイラストはDMR-XW300を代表として記載しています。

マーク表記について

- お願い............操作上、お守りいただきたい重要事項や禁止事項を記載しています。必ずお読みください。
- お知らせ............操作の参考となることや、補足説明を記載しています。
- (☞○ページ).............説明上、参照していただきたいページを記載しています。

商標/登録商標について

- 「HD-PLC」は商標です。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

もくじ

ご使用の前に

- 特長 2
  - 接続できる機器について 2
- 取扱説明書（本書）の表記について 4

安全上のご注意 6

ご使用上のお願い 10

- 付属品・添付品の確認 15
- 「HD-PLC」とは 16
  - マスターアダプターとターミナルアダプターについて 16

各部のなまえとはたらき 18

設置・接続

設置の流れ 21

接続例 22

- インターネットに接続していない場合の接続例 22
- インターネットに接続している場合の接続例 24

設置する 26

- 設置場所を決める 26
- アダプター間の通信速度を確認する 27
- ドアホン用PLCアダプターをドアホン親機に接続する 28
- ドアホン親機の機能設定を確認する（A接点出力） 30
- マスターアダプターをテレビやレコーダーに接続する 31
- ドアホン用PLCアダプターをテレビに登録する 32
- ドアホン用PLCアダプターをレコーダーに登録する 33
- 正しく接続・設定できているか確認する 34
  - アダプターのインジケーターを確認する 34
  - 動作を確認する 34
- ドアホン用PLCアダプターを壁（柱）に取り付けるとき 36

その他の機能

- インジケーターの動作について 37
  - ドアホン用PLCアダプターのインジケーター 37
  - マスターアダプターのインジケーター 39
- アダプターを初期化する 40
- アダプターを再登録する 41
- ドアホン用PLCアダプターの登録情報を見る 43

必要なとき

- ドアホン用PLCアダプターを再起動する 44
- テレビやレコーダーの登録情報を消去する 45
- アダプターの設定画面について 46
- お手入れ 47
- 別売品 47
- 仕様 48
- 用語解説 50
- ライセンスについて 53

困ったとき

困ったとき 57

- 接続できなかったときには（PLCインジケーターが青点滅している） 57
- 接続できなかったときには（通信速度が遅い） 58
- インジケーター表示について 60
- 他の電化製品への影響について 62
- 通信速度について 63
- テレビやレコーダーについて 64
- 保証とアフターサービス 66

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

絵表示	内容
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

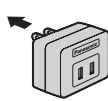
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

上下を正しく設置する

逆さまに設置すると、コンセントとのすきまに異物(クリップなど)が入り、発火や感電の原因になります。

●上下を確認して設置してください。

⚠警告

煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

●使用を中止し、販売店へご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

雷が鳴ったら本製品・電源コード・電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

分解・修理・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

●修理は販売店へご相談ください。

指定以外の機器は接続しない

禁止

火災・感電の原因になります。

機器内部に金属物を入れたり、ぬらしたりしない

禁止

火災・感電の原因になります。

●金属物が入ったり、ぬれたりした場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。

医療機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU※などには持ち込まない）

禁止

本製品からの高周波信号が、医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

※ CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

ノイズフィルターを抜き差しするときは本体(金属でない部分)を持つ	落下させたり、強い衝撃を加えない
感電の原因になります。	禁止 けがの原因になります。

ドアホン用PLCアダプターの接続・設置について

電源(AC100 V)を入れたまま配線工事をしない	雷のときは配線工事をしない
禁止 感電の原因になります。	禁止 火災・感電の原因になります。

⚠注意

ケーブルを引っぱったり、コネクター部に無理な力を加えない	不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない
禁止 破損や感電の原因になることがあります。	禁止 落下により、破損やけがの原因になることがあります。
長時間使用しないときや、お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く	**湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない**
電源プラグを抜く 漏電・感電の原因になることがあります。	禁止 火災・感電の原因になることがあります。

⚠注意

ノイズフィルターは、最大定格 1500 W を超えて使用しない

禁止

容量を超えると焼損の恐れがあり、火災の原因になることがあります。

●合計 1500 W 以下でお使いください。

ご使用上のお願い

本製品は、涼しくて湿気が少なく、なるべく温度が一定のところに設置してください。
動作温度：0 ℃～40 ℃
動作湿度：20 %～85 %（結露なきこと）

冷・暖房機の近くには設置しないでください。
変形・変色または故障・誤動作の原因になります。

放熱のため、ドアホン用PLCアダプターおよびマスターアダプターの周囲には、できるだけ10 cm 以上の空間をとってください。
変形・変色または故障・誤動作の原因になります。

マスターアダプターを設置するには、床からコンセント差込口まで約20 cm必要です。

- 本製品を分解・改造することは法律で禁じられています。
（故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。）
- 停電、電力線上のノイズなどの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止する場合、壁掛けにしているときは、万一の落下防止のため、ドアホン用PLCアダプターを壁から取り外してください。
- 取扱説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

他方式のPLC製品との併用は動作保証できません。
機器の性能に影響を与えることがあります。

屋内専用

電波法令により本製品の使用は屋内に限定されています。

無線通信へ影響が発生した場合

本製品は、アマチュア無線、短波放送、航空無線、海上無線、電波を使用した天文観測などと同じ周波数を使用した高周波利用設備であり、これらの無線設備の近傍で使用した場合、これらの業務の妨害となる可能性があります。もし、継続的かつ重大な妨害の原因が本製品であると確認された場合は、電波法に基づき妨害を除去する必要な措置※ をとることを総務大臣から命じられることがあります。

※アダプターの停止措置が必要になった場合は、すべてのアダプターの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
　その後、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センター(☞66ページ)へご連絡ください。

本製品は、PLC-J(高速電力線通信推進協議会)ガイドラインに準拠しています。

医療機器の近くでの設置や使用をしない

本製品からの高周波信号が、医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

アダプターが影響を与える電化製品について

アダプターは以下の電化製品の電気ノイズ源となる場合があります。

■短波ラジオ
■調光機能付き照明器具やタッチランプなど
■「HD-PLC」規格※1 を使用していないPLC製品
■無線を利用した遠隔操縦機器
■ワイヤレスマウス

※1「HD-PLC」規格の製品には下記の表示がされています。

HD-PLC™

アダプターにより影響を受けていると思われる場合は、下記の対処をしてください。
それでも症状が改善されない場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

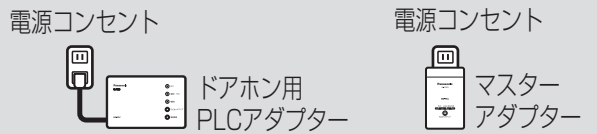
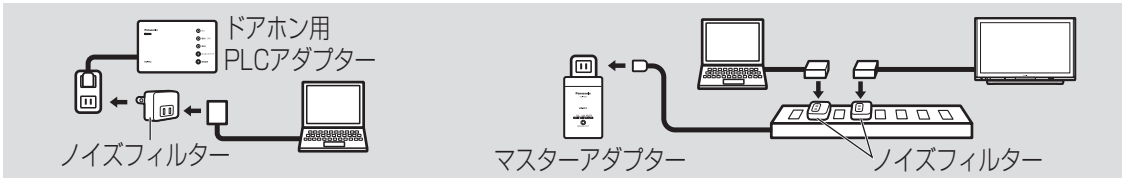
- アダプターの電源コンセントを別の電源コンセントに差し替える
- 短波ラジオの場合は、使用場所を壁から遠ざける
- 短波ラジオの周波数を変更して受信をする
- 本書の「困ったとき」(☞57ページ)を参照する
- 電池が使用可能なラジオであれば、電池で動作させてみる

ご使用上のお願い（つづき）

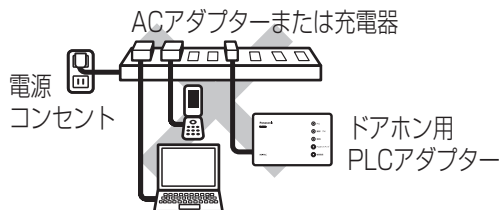
使用環境について

● アダプターは、既存の電力線（屋内電気配線）を利用してデータ通信を行います。電気ノイズや電力線の長さ、ブレーカーの仕様の影響を受けることがあります。また、近傍に強い電波を発する無線設備がある場合は、通信速度の低下、または、通信できない場合があります。アダプターを設置するときは、次の点にご注意ください。

電源コンセント

● **アダプターの電源プラグは、壁の電源コンセントに直接接続してください。**
（アダプターの接続には、ノイズフィルターを利用しないでください。）

● **アダプターを接続した同じ電源コンセントに電化製品を接続する場合は、ノイズフィルターを利用して電源を接続してください。（本製品にはノイズフィルターを2個付属しています。足りない場合は、別売のノイズフィルター 品番：VL-P910〔サービス扱い〕をお買い求めください。）**

● **やむなくドアホン用PLCアダプター（ターミナルアダプター）をOAタップ（テーブルタップ）に接続するときは以下の点にご注意ください。**
マスターアダプターは、必ず、壁の電源コンセントに直接差し込んでください。

- 雷サージ対応のテーブルタップは使用しないでください。
  （アダプターの性能に影響を与えることがあります。）
- テーブルタップは壁の電源コンセントに直接接続してください。
- テーブルタップの電源コードはできるだけ短いものをお使いください。
- ノイズフィルター付きテーブルタップに接続しないでください。

- ドアホン親機以外の電化製品とドアホン用PLCアダプターを同じテーブルタップに接続しないでください。

● **アダプターの性能に影響がでる恐れがあるので、アダプターをバックアップ電源装置（無停電電源装置（UPS）など）に接続しないでください。**

アダプター間の通信への妨害

電化製品には電気ノイズが発生するものがあり、電気ノイズが電力線を通ると、アダプターの性能、通信速度に影響を与えることがあります。

● **電気ノイズが発生しやすい電化製品がアダプターとは別の壁の電源コンセントに差されている場合は、ノイズフィルターを利用して電源を接続してください。**

● **電気ノイズが発生しやすい電化製品は、例えば以下のようなものです。**

- ■ 充電器（携帯電話の充電器を含む）
- ■ 電気ドリル
- ■ ACアダプター（モデム、ルーター、ノートパソコンなど）
- ■ ヘアードライヤー
- ■ 調光機能付き照明器具やタッチランプなど
- ■ 掃除機
- ■ デスクトップパソコン

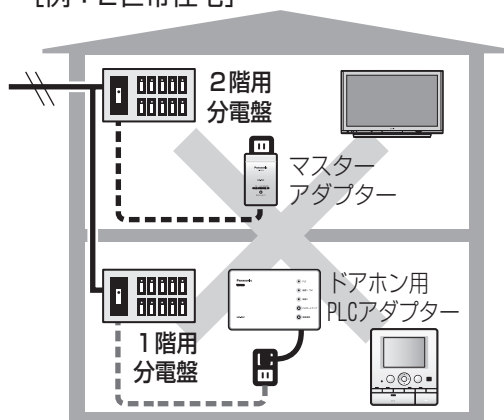
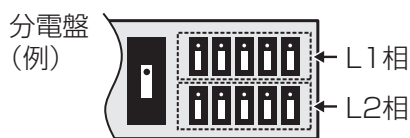
電力線

ドアホン用PLCアダプターを接続する電源コンセントと、マスターアダプターを接続する電源コンセントが非常に離れたところにある場合、双方のデータ通信ができないことがあります。
そのときは、別の電源コンセントに差し替えてください。
ドアホン用PLCアダプターを使用する場所に置き、電源プラグを電源コンセントに差し込んだあと、通信速度の確認を行ってください。（☞27ページ）

分電盤

● **マスターアダプターとドアホン用PLCアダプターは、同じ分電盤からきている電源コンセントに接続してください。**

- 1つの分電盤の中でのみ通信可能です。
  2世帯住宅などで分電盤が2つ以上ある場合は、分電盤を越えて通信できません。

[例：2世帯住宅]

● **一般家庭の単相三線式100 V配線には、L1相、L2相という2種類があります。
L1相とL2相間の異相間通信の場合は、同相間の通信に比べて信号が多少減衰するため、PLC通信に影響を与えやすい機器の影響と重なって、通信できない場合もあります。**

ご使用上のお願い（つづき）

セキュリティに関するお願い

■本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受けることが想定されます。

- ●本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい（ドアホン画像データなどの通信内容）
- ●悪意の第三者による本製品の不正操作
- ●悪意の第三者による本製品の妨害や停止

■本製品をご使用になる場合は、十分なセキュリティ対策を行ってください。
セキュリティ対策は下記のとおりです。
〔本製品をインターネットに接続している場合〕

- ●ルーターの取扱説明書に従って、適切なセキュリティ設定（ファイアウォール設定など）を行う
- ●無線LANをお使いの場合は、無線LAN機器の取扱説明書に従って、暗号化などの適切なセキュリティ設定を行う

※セキュリティに関する設定を行わずに使用した場合に生じる問題を、十分理解されたうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、無線LAN製品を使用されることをおすすめします。

■セキュリティに関する設定を行わずに使用された場合に発生した、セキュリティの問題および、これによって生じた損害に対し、当社は責任を負いかねます。

■以下のような場合は、本製品を初期化してください。（☞40ページ）

- ●当社が関与できない外部業者に、修理を依頼されるとき
- ●他人に譲渡するとき

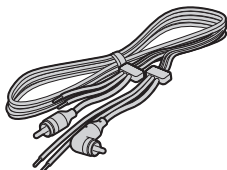
■本製品を廃棄するときは、本製品を初期化してください。（☞40ページ）

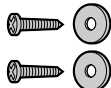
パナソニック コミュニケーションズ株式会社

第三者のネットワークへの侵入を防ぐために、本製品が提供しているセキュリティ対策は以下のとおりです。

- マスターアダプターに登録されているドアホン用PLCアダプター（ターミナルアダプター）のみネットワークに接続できます。
- マスターアダプターの［PLCセットアップボタン］を押してから、5秒以内に［PLCセットアップボタン］を押した近距離にある1台のドアホン用PLCアダプターのみ、マスターアダプターに登録されます。
- データはAES128 bit暗号化方式で保護されています。ただし、第三者による傍受に対して、セキュリティを保証するものではありません。
- データが暗号化方式で保護されているのは、電力線上（ドアホン用PLCアダプターとマスターアダプターの間）のみです。イーサネット上（マスターアダプターとテレビやレコーダーの間など）では、暗号化されていません。

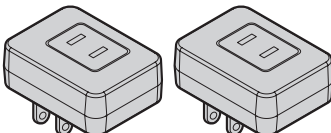
アダプターを譲渡・廃棄するときは

●**譲渡または廃棄するアダプターを、初期化してください。（☞40ページ）**

付属品・添付品の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

付 属 品

ドアホン用PLCアダプター用

□ 接続ケーブル(映像・A接点用) 1本
(長さ：約2 m)

□ 壁掛け用木ねじ・ワッシャー 各2個

PLCアダプター用

□ LANケーブル 1本
(カテゴリー5、ストレートケーブル)
(長さ：約2 m)

□ PLC用ノイズフィルター...... 2個

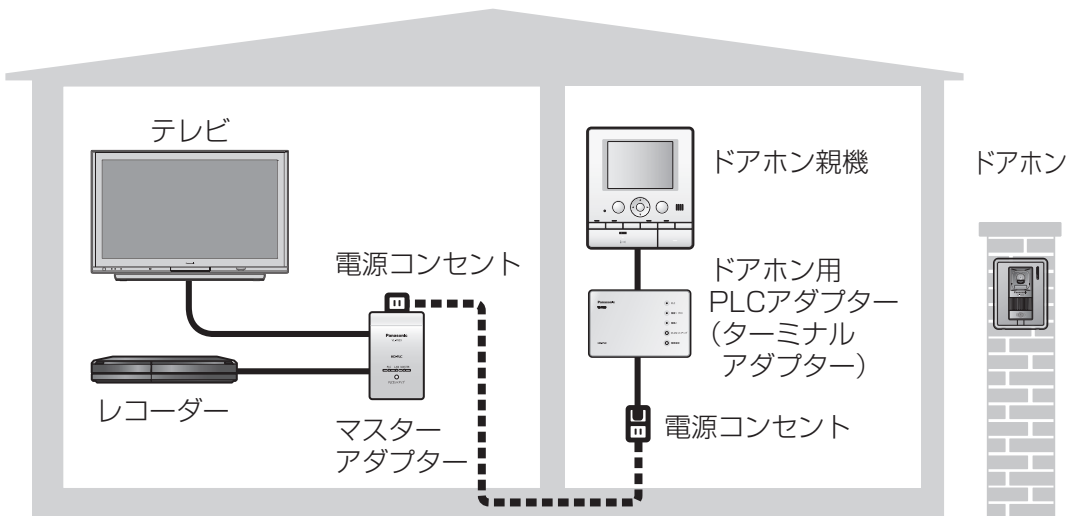
添 付 品

☑ 取扱説明書(本書) 1冊
□ かんたんガイド 1部
□ 保証書 1式

「HD-PLC」とは

「HD-PLC」は、既存の電力線(屋内電気配線)を利用してデータ通信を行う新しい通信技術です。
それぞれの電源プラグを電源コンセントに差し込むだけで、イーサネットケーブル(LANケーブル)の配線が困難な場所や、部屋の壁のような障害物のため無線通信ができないところでも、データ通信ができるようになります。

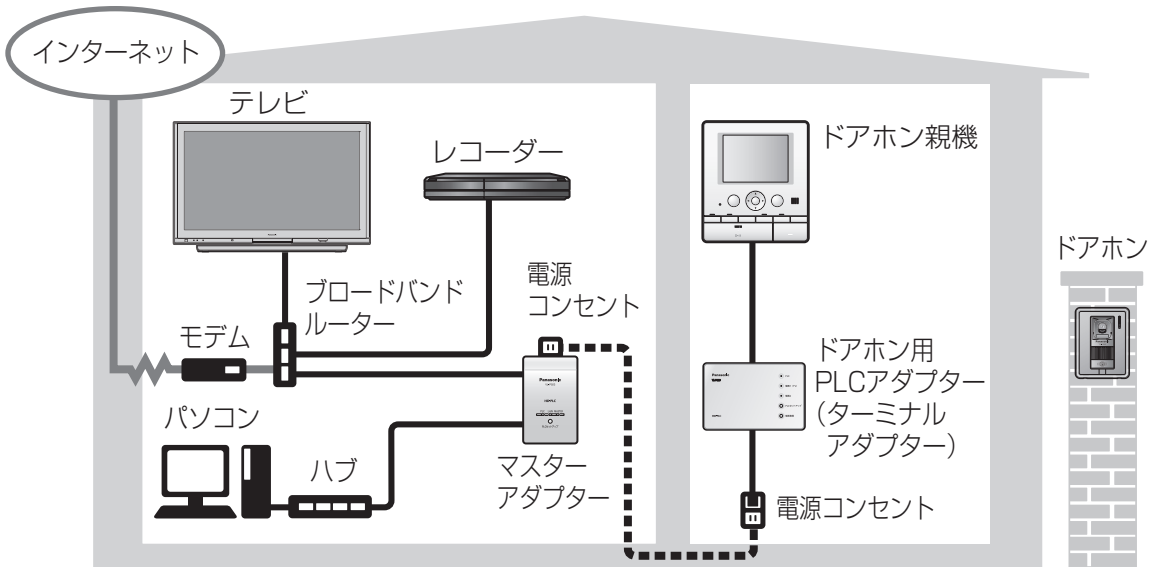
マスターアダプターとターミナルアダプターについて

「HD-PLC」を利用したネットワークは、マスターアダプターとターミナルアダプターで構成されます。ターミナルアダプターはネットワーク上の1台のマスターアダプターに登録されている必要があります。
本製品のドアホン用PLCアダプターは、お買い上げ時には、ターミナルアダプターとしてマスターアダプターに登録されていますので、登録作業は不要です。

ドアホン用PLCアダプターパックを使用すると…
既存の電力線を利用するので、配線が困難な場所でも
テレビやレコーダーでドアホンの画像を確認・録画できる！

ドアホン用PLCアダプターにはドアホン親機をつなぎ(☞28ページ)、マスターアダプターのLANジャックにはテレビやレコーダーをつないでください(☞31ページ)。アダプターの電源プラグを電源コンセントに差し込み、テレビやレコーダーにドアホン用PLCアダプターを登録すると、ドアホンの画像をテレビで表示したりレコーダーで録画できるようになります。

インターネットが利用できる環境では

マスターアダプターはルーターのLANジャックに接続してください。

お願い

- **ルーターの電源は切らないでください。**
  (テレビやレコーダーに、ドアホンの画像を表示・録画できなくなります。)
- 本製品にルーター機能はありません。テレビやレコーダー、パソコンをインターネットに接続する場合は、ルーターに接続してください。
  ルーターについては、ご契約のプロバイダーにご確認ください。

各部のなまえとはたらき

ドアホン用PLCアダプター

《正面／右側面》

PLCインジケーター
「HD-PLC」ネットワーク接続時に点灯します。
(☞37ページ)

機器1(TV)インジケーター
テレビにドアホン用PLCアダプターが登録されているときに点灯します。
データの送信中は点滅します。
(☞37、38ページ)

機器2インジケーター
レコーダーにドアホン用PLCアダプターが登録されているときに点灯します。
データの送信中は点滅します。
(☞37、38ページ)

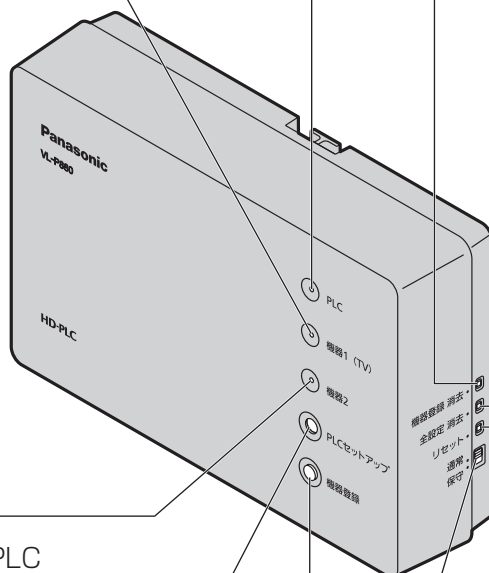
PLCセットアップボタン
アダプター登録時(☞42ページ)、通信速度確認時(☞27ページ)に使用します。

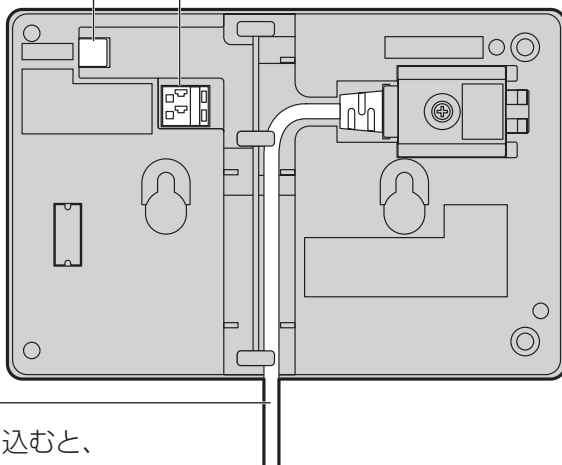
機器登録 消去スイッチ
ドアホン用PLCアダプターに登録しているテレビやレコーダーの登録情報を消去します。
(☞45ページ)

全設定 消去スイッチ
アダプターを初期化します。
初期化を行うと、マスターアダプターとドアホン用PLCアダプター間で通信するための登録情報およびテレビやレコーダーの登録情報が消去されます。(☞40ページ)

リセットスイッチ
ドアホン用PLCアダプターを再起動します。(☞44ページ)

通常/保守モード切替スイッチ
「通常」に設定しておいてください。パソコンで設定画面を見るときに「保守」に設定します。
(☞46ページ)

機器登録ボタン
ドアホン用PLCアダプターをテレビやレコーダーに登録するときに使用します。
(☞32、33ページ)

《背面》

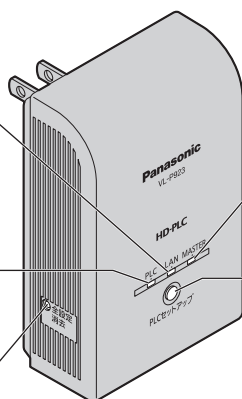
映像入力端子
接続ケーブル（付属品）で
ドアホン親機と接続
します。
（☞28、29ページ）
A接点入力端子
接続ケーブル（付属品）で
ドアホン親機と接続します。
（☞28、29ページ）
電源コード
電源コンセントに差し込むと、
電源が入ります。

各部のなまえとはたらき(つづき)

PLCアダプター(VL-SP880同梱用)

《正面/左側面》

LANインジケーター
LANケーブル接続時に点灯します。データの送受信中は点滅します。
(☞39ページ)

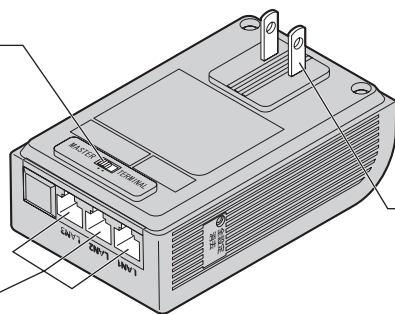
PLCインジケーター
「HD-PLC」ネットワーク接続時に点灯します。
(☞39ページ)

全設定 消去スイッチ
アダプターを初期化します。
初期化すると、マスターアダプターとドアホン用PLCアダプター間で通信するための登録情報が消去されます。(☞40ページ)

MASTER(マスター)インジケーター
マスターアダプターとして設定されたときのみ点灯します。(☞39ページ)

PLCセットアップボタン
アダプターを再登録するときに使用します。
(☞41ページ)

《背面/底面》

モード切替スイッチ
「マスター」/「ターミナル」の設定ができます。通常は「MASTER」に設定しておいてください。

LANジャック(LAN1/LAN2/LAN3)
LANケーブルで、テレビやレコーダー、ネットワーク機器(ブロードバンドルーター、パソコンなど)に接続します。
(☞31ページ)

電源プラグ
電源コンセントに差し込むと、電源が入ります。

設置の流れ

アダプターの設置手順は下記の通りです。
それぞれの設置方法は、各参照ページをご覧ください。

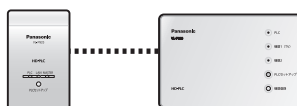
1 使いかたに合った接続例を確認する

☞22ページ

- インターネットに接続していない場合 ☞22ページ
- パソコンでインターネットに接続している場合 ☞24ページ

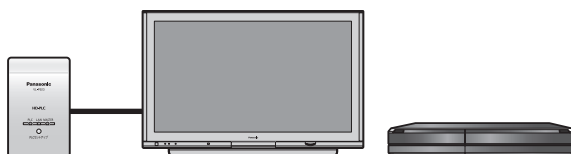
2 設置場所を決める

☞26ページ

- マスターアダプターとドアホン用PLCアダプター間の通信速度を確認する ☞27ページ

3 ドアホン用PLCアダプターをドアホン親機に接続する

☞28ページ

- ドアホン親機の機能設定を確認する（A接点出力） ☞30ページ

4 マスターアダプターをテレビやレコーダーに接続する

☞31ページ

5

■ ドアホン用PLCアダプターをテレビに登録する（ドアホン設定をする） ☞32ページ

■ ドアホン用PLCアダプターをレコーダーに登録する（ドアホンの接続設定をする） ☞33ページ

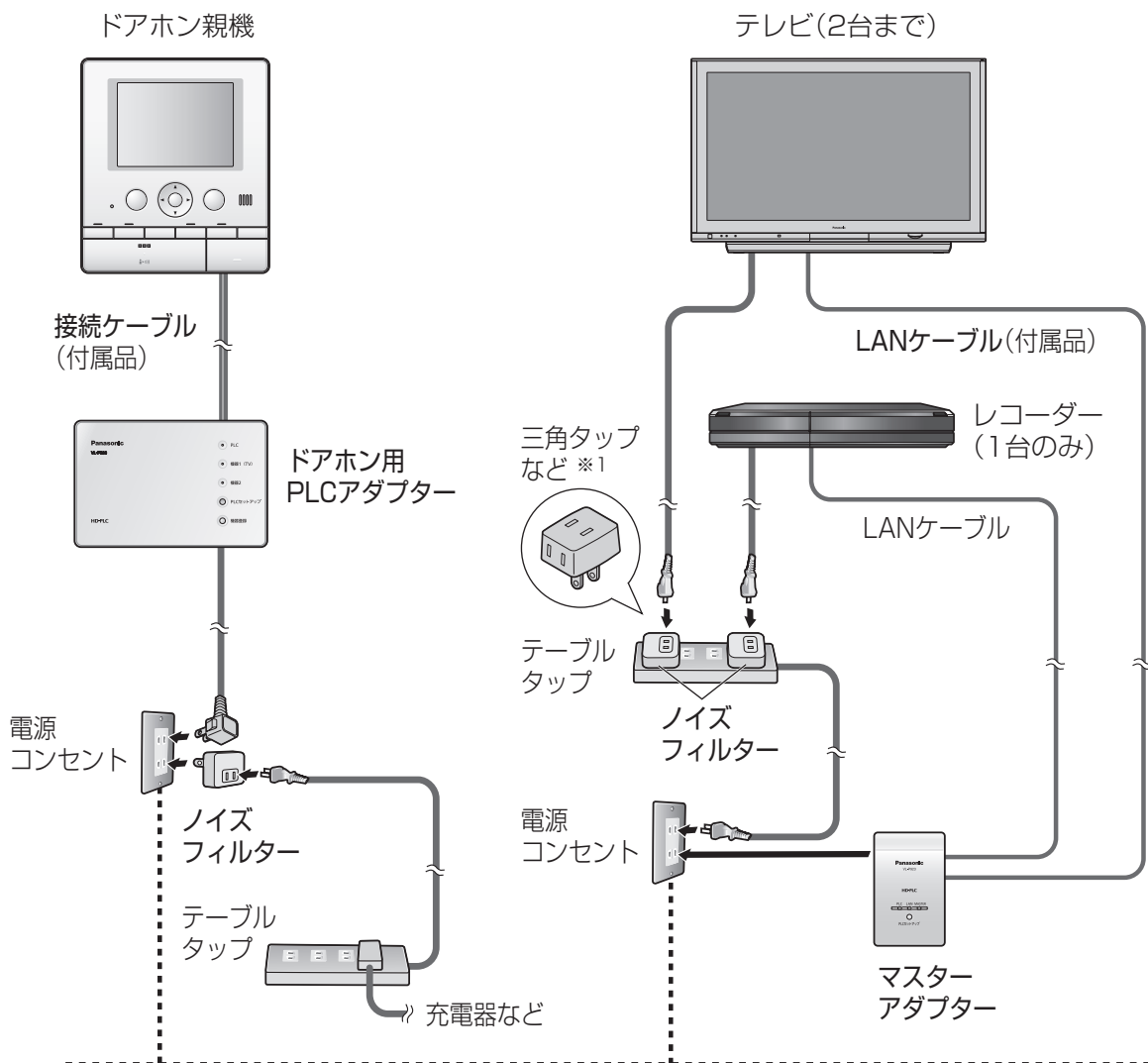
6 正しく接続・設定できているか確認する

☞34ページ

- アダプターのインジケーターを確認する ☞34ページ
- 動作を確認する ☞34ページ

接続例

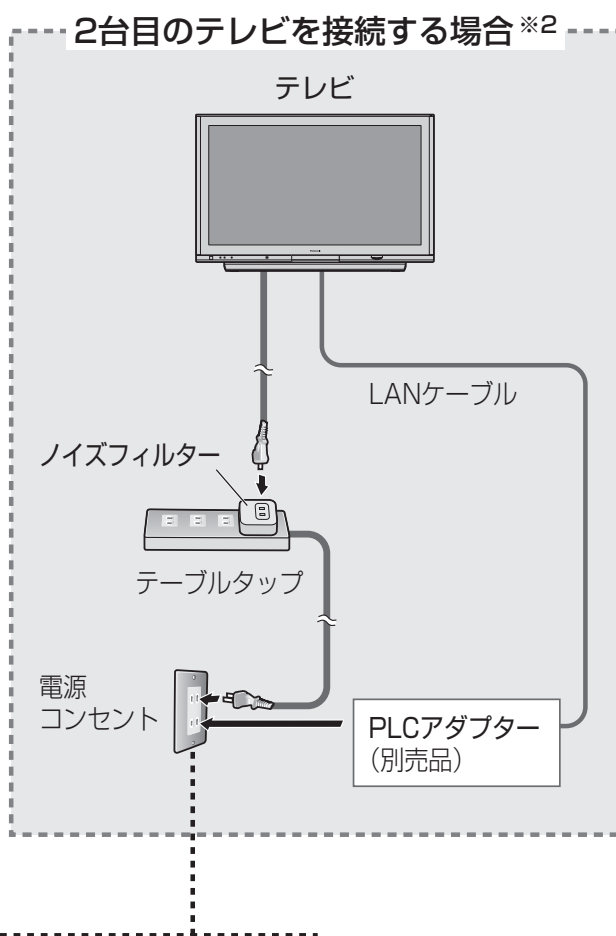
使いかたに合った接続例を確認してください。
すでにPLCアダプターをご使用の場合は、パナソニックのサポートウェブサイト
（http://panasonic.co.jp/pcc/cs/faq/tvdfon/faq_la.html）を参照してください。

● インターネットに接続していない場合の接続例

※1　ノイズフィルターの定格（1500 W）内であれば、1つのノイズフィルターに三角タップなどを接続して、その先にテレビやレコーダーの電源コードを一緒に接続することもできます。

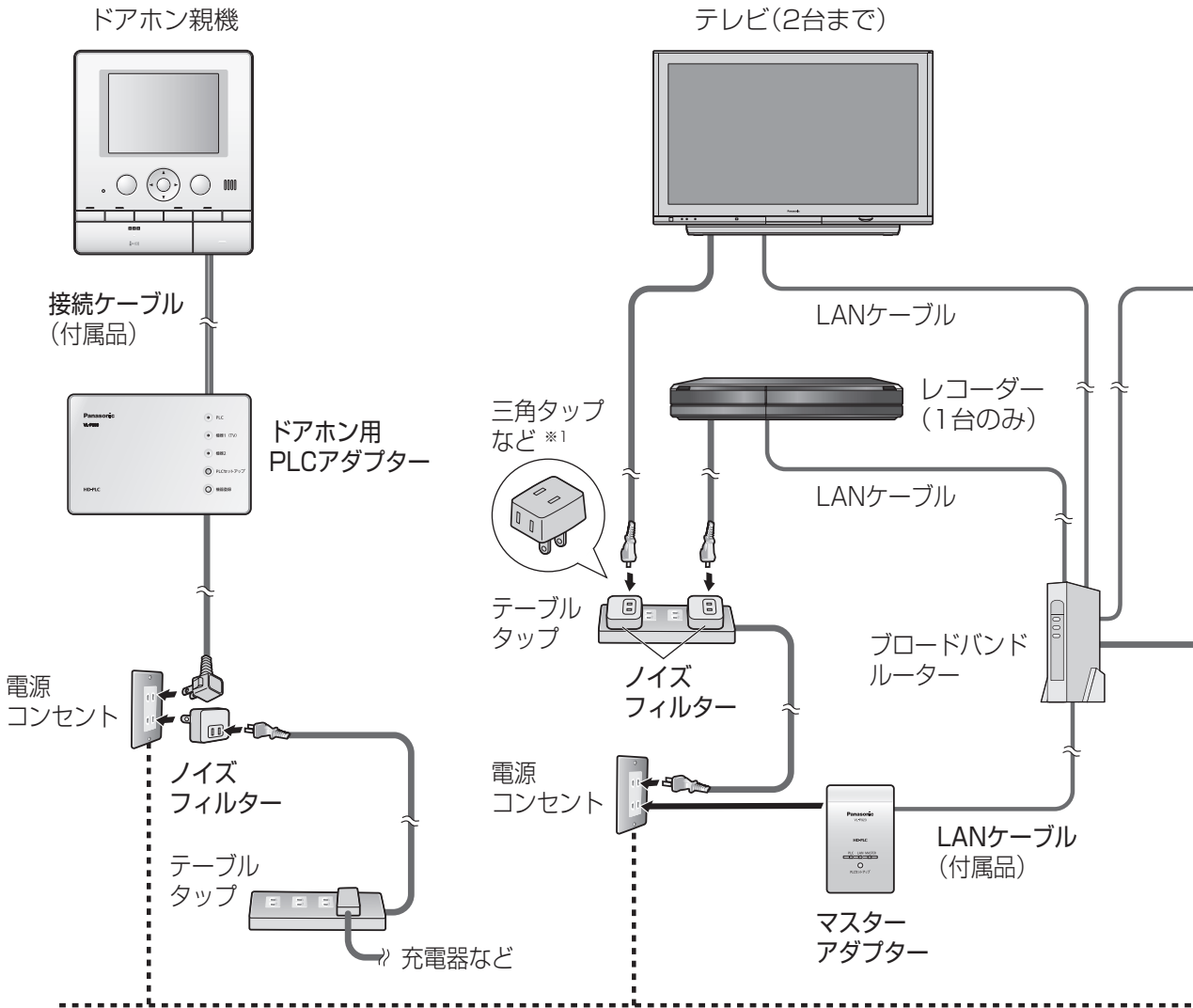
お願い

● テレビやレコーダーのネットワーク設定で、IPアドレスの自動取得を「する」に設定してください。設定については、お使いのテレビやレコーダーの取扱説明書をお読みください。

※2　2台目のテレビの接続には、2つの方法があります。

- LANケーブルで、マスターアダプターと2台目のテレビを直接、接続する
- 松下電器産業(株)製のPLCアダプター(増設用)を使って、接続する

接続のしかたや接続の際に必要な設定などは、パナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.co.jp/pcc/cs/faq/tvdfon/faq_la.html)を参照してください。
また、PLCアダプターの最新情報は、
(http://panasonic.co.jp/pcc/products/plc/index.html)を参照してください。

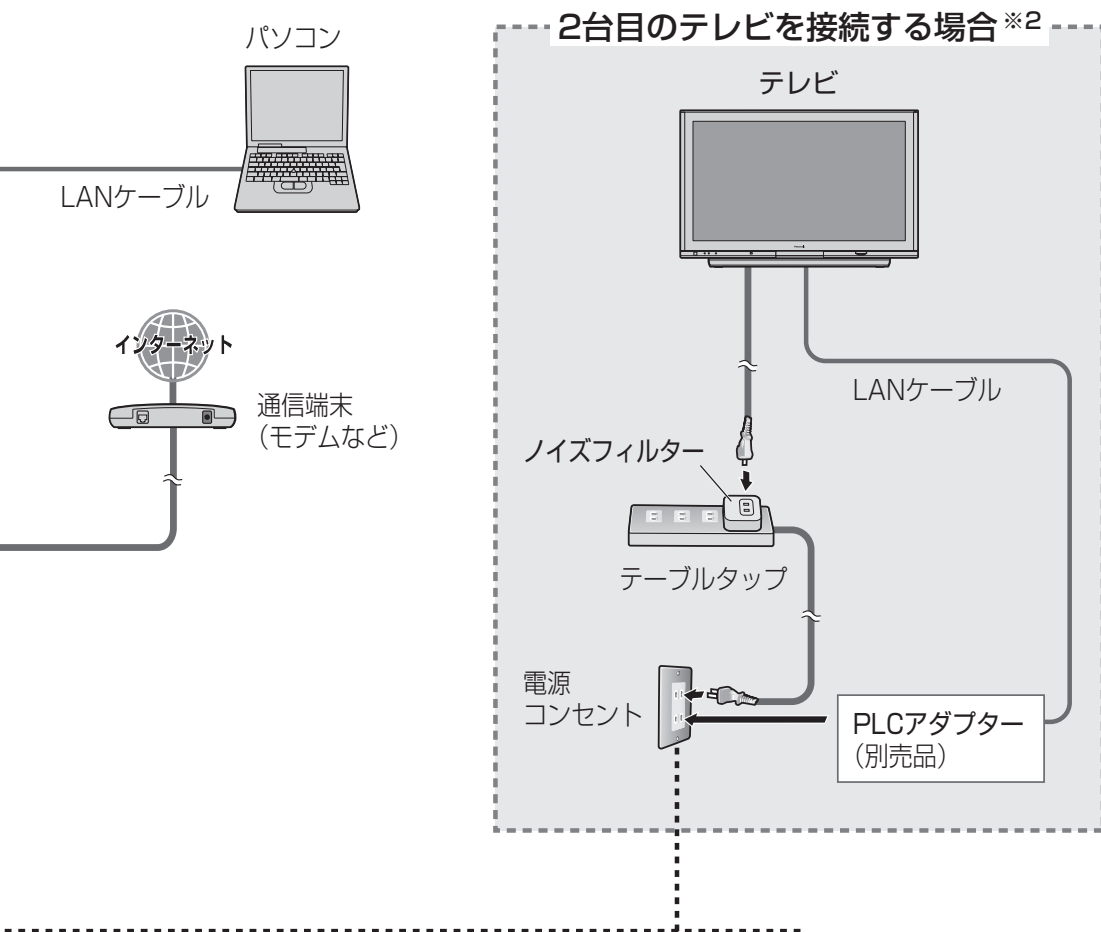
接続例(つづき)

インターネットに接続している場合の接続例

※1　ノイズフィルターの定格(1500 W)内であれば、1つのノイズフィルターに三角タップなどを接続して、その先にテレビやレコーダーの電源コードを一緒に接続することもできます。

お願い

- **ルーターの電源は切らないでください。**
  (テレビやレコーダーに、ドアホンの画像を表示・録画できなくなります。)
- ルーターのDHCPサーバー機能は「有効」(IPアドレスを自動的に割り当てる設定)にしてください。通常は「有効」に設定されていますので、変更する必要はありません。設定については、お使いのルーターの説明書をお読みください。
- テレビやレコーダーのネットワーク設定で、IPアドレスの自動取得を「する」に設定してください。設定については、お使いのテレビやレコーダーの取扱説明書をお読みください。

※2　2台目のテレビの接続には、2つの方法があります。

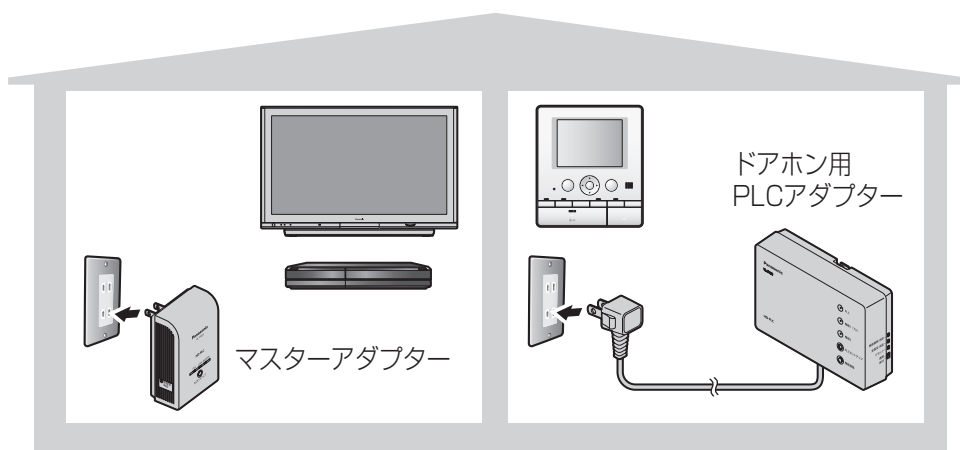
- LANケーブルで、マスターアダプターと2台目のテレビを直接、接続する
- 松下電器産業(株)製のPLCアダプター(増設用)を使って、接続する

接続のしかたや接続の際に必要な設定などは、パナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.co.jp/pcc/cs/faq/tvdfon/faq_la.html)を参照してください。
また、PLCアダプターの最新情報は、
(http://panasonic.co.jp/pcc/products/plc/index.html)を参照してください。

設置する

設置場所を決める

アダプターを設置する前に、「使用環境について」(☞12ページ)をお読みください。

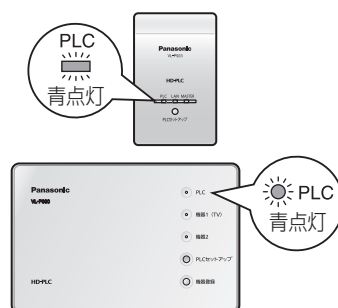
1 マスターアダプターとドアホン用PLCアダプターを、使用する場所に置き、それぞれの電源プラグを電源コンセントに差し込む

● 電源コンセントは、使用する場所にできるだけ近い電源コンセントをお使いください。

お知らせ

● マスターアダプターに登録後(☞41ページ)、設置してください。
(本製品は、お買い上げ時に、あらかじめ登録がされています。)

2 それぞれのPLCインジケーターが青点灯していることを確認する

お知らせ

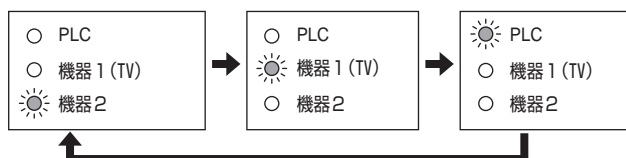
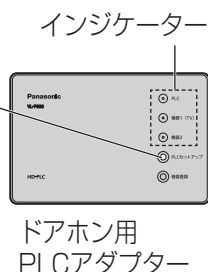
● PLCインジケーターが青点灯していないときは、「HD-PLC」ネットワークに接続されていません。「困ったとき」の「インジケーター表示について」(☞60ページ)を参照してください。

上記の手順が終了したら、アダプター間の通信速度を確認してください。(☞27ページ)

アダプター間の通信速度を確認する

通信速度が遅い場合は、快適なデータ通信ができません。
アダプターを使用する場所に設置したら(☞26ページ)、ドアホン用PLCアダプターとマスターアダプター間の通信速度を確認してください。

● **機器1(TV)と機器2のインジケーターが消灯または緑点灯していることを確認してから、下記の操作をしてください。**

1 ドアホン用PLCアダプターの[PLCセットアップボタン]を、約1秒間押す

● 通信速度測定中は、ドアホン用PLCアダプターのインジケーターが以下の順番で点灯します。

■ **測定結果について**

通信速度の測定結果は、インジケーターの点灯(約5秒間)でお知らせします。

インジケーター	○PLC ○機器1(TV) ○機器2	○PLC ○機器1(TV) ☀機器2	○PLC ☀機器1(TV) ☀機器2	☀PLC ☀機器1(TV) ☀機器2
通信速度	通信不能	遅い	→	速い

☀：点灯
○：消灯

インジケーターが1つしか点灯しない場合、テレビやレコーダーに、ドアホンの画像が表示・録画されないことがあります。できるだけ、インジケーターが2つ以上点灯する場所(電源コンセント)に設置してください。
インジケーターが1つしか点灯しないときは、58ページの「接続できなかったときには(通信速度が遅い)」に従って確認してください。

お知らせ

● 測定結果は、ドアホン用PLCアダプターからマスターアダプターへのデータ通信速度です。
● 通信速度は、環境の変化により変わることがあります。
● PLCインジケーターが青点灯した状態でないと測定はできません。

通信速度の確認ができたら、ドアホン用PLCアダプターをドアホン親機に(☞28ページ)、マスターアダプターをテレビやレコーダーに接続してください(☞31ページ)。

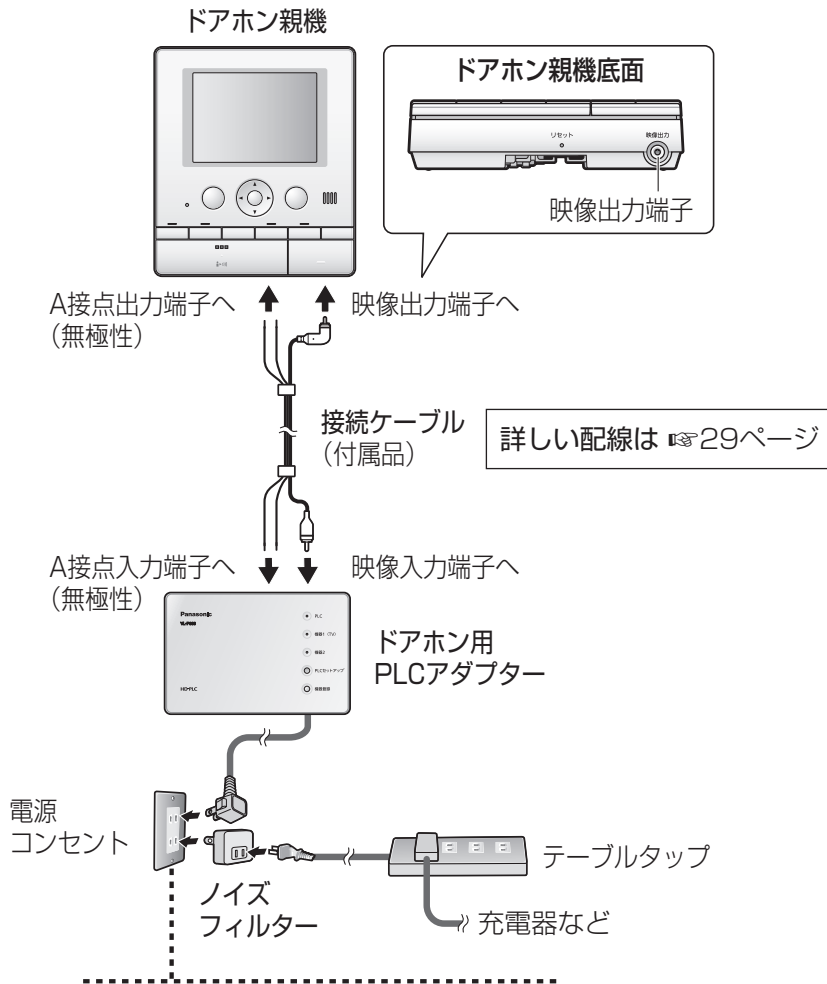
ドアホン用PLCアダプターをドアホン親機に接続する

接続する前に、ドアホン親機とドアホン用PLCアダプターの電源は切っておいてください。
接続後、電源を入れてください。

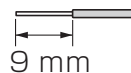
● **ドアホン親機への接続については、お使いのテレビドアホンの工事説明書および取扱説明書をお読みください。**
（下記の接続は、テレビドアホン〔VL-SW130K／VL-SW150K〕の例です。）

ドアホン親機
ドアホン親機底面
リセット
映像出力
映像出力端子
A接点出力端子へ（無極性）
映像出力端子へ
接続ケーブル（付属品）

詳しい配線は ☞29ページ

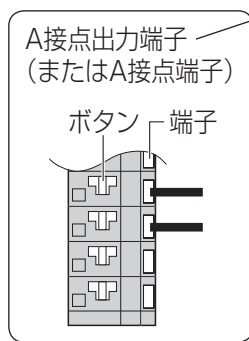
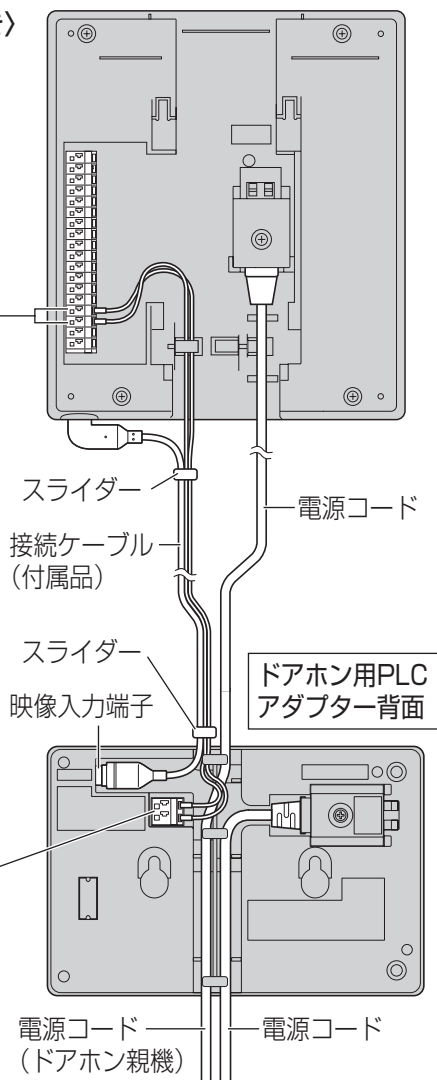
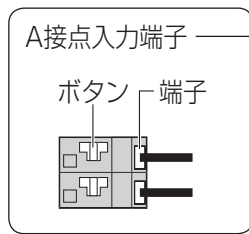
A接点入力端子へ（無極性）
映像入力端子へ
ドアホン用PLCアダプター
電源コンセント
ノイズフィルター
テーブルタップ
充電器など

お知らせ

● ドアホン親機のA接点出力端子に、光るチャイムなどの機器を接続している場合は、取り外してください。ドアホン用PLCアダプターと両方使用することはできません。
● 付属の接続ケーブルの長さが足りない場合は、下記仕様の市販品を、それぞれお買い求めください。

A接点接続用ケーブル　：単芯線 φ0.65 mm～φ0.8 mm、長さ10 m 以内
ピンプラグ映像コード：長さ10 m 以内

■ 接続ケーブルなどの配線について

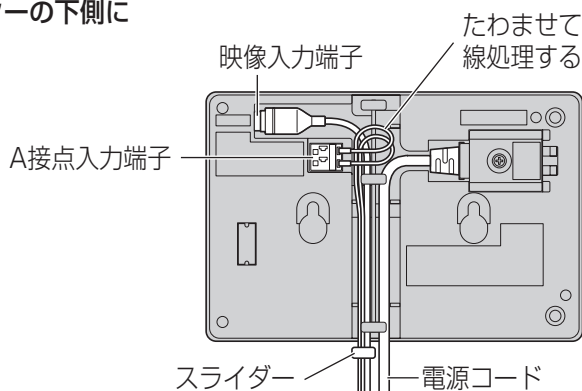
〈ドアホン親機とドアホン用PLCアダプターを上下に設置するとき〉

❶ ドアホン親機の電源コードをドアホン用PLCアダプターの溝に通す**（電源を直結しない場合のみ）**

❷ 接続ケーブル（付属品）を、右図のように配線する
- 接続ケーブルのスライダーは、配線しやすい位置に移動（スライド）させてください。

● 接続ケーブルの抜き差しは、端子の横にあるボタンをドライバーの先などで押しながら行ってください。

● **接続ケーブルは、ドアホン用PLCアダプターの下側に引き出すこともできます。**

❶ スライダーを、下側に約10 cm移動させる

❷ 接続ケーブルを溝に通す

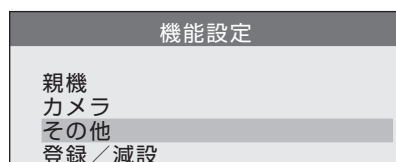
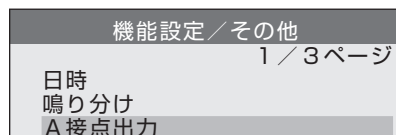
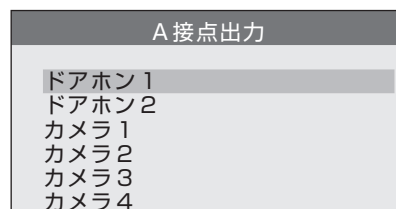
❸ 右図のように、それぞれの端子に接続する

設置する(つづき)

ドアホン親機の機能設定を確認する（A接点出力）

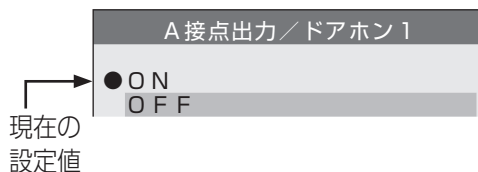
ドアホン親機の機能設定(「A接点出力」または「A接点」)が「ON」のとき、ドアホンやカメラからの呼び出しに連動して、テレビやレコーダーに画像が表示・録画されます。機能設定が「ON」になっていることを確認してください。また、連動させたくないドアホンやカメラがある場合は、設定を「OFF」にしてください。

- テレビドアホンのお買い上げ時の設定：すべて「ON」
- **設定の変更については、お使いのテレビドアホンの取扱説明書(機能設定：「A接点出力」または「A接点」)をお読みください。**

（下記の操作は、テレビドアホン〔VL-SW130K/VL-SW150K〕の例です。）

1 ドアホン親機の[機能]を押し、[▼][▲]で「その他」を選ぶ

2 [決定]を押し、[▼][▲]で「A接点出力」を選ぶ

3 [決定]を押し、[▼][▲]で設定を確認(変更)する機器を選ぶ

4 [決定]を押し、確認する

〔設定を変更する場合〕

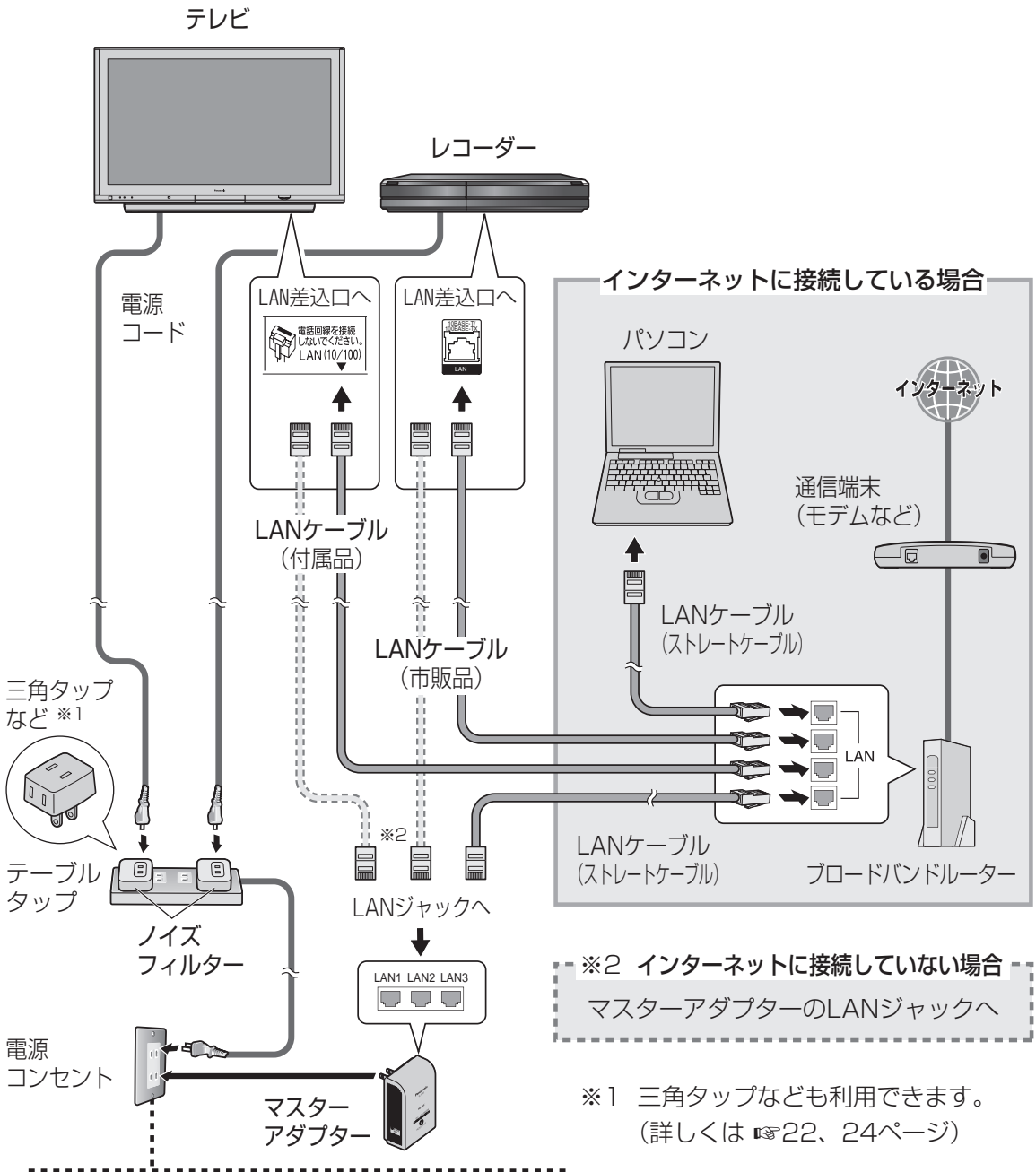
[▼][▲]で「ON」または「OFF」を選ぶ

5 [決定]を押す

- 「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6 終わったら、**[終了]を押す**

マスターアダプターをテレビやレコーダーに接続する

接続する前に、テレビやレコーダー、およびマスターアダプターの電源は切っておいてください。
接続後、電源を入れてください。

※1　三角タップなども利用できます。
　　（詳しくは ☞22、24ページ）

お知らせ

- マスターアダプターの電源を入れると、ドアホン用PLCアダプターの機器1（TV）と機器2のインジケーターが交互にオレンジ点滅します。（約1分間）
- 付属のLANケーブルの長さが足りない場合などは、下記仕様の市販品をお買い求めください。
  LANケーブル：カテゴリー5以上、ストレートケーブル

設置する(つづき)

ドアホン用PLCアダプターをテレビに登録する

テレビの「ドアホン設定」で、ドアホン用PLCアダプターをテレビに登録してください。
(登録できるテレビは、2台までです。)

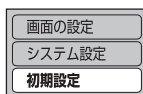
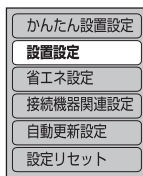
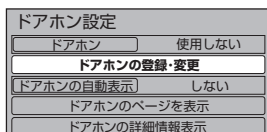
- **登録については、お使いのテレビの取扱説明書をお読みください。**
  (下記の操作は〔TH-65/58/50/42PZ750SK〕の例です。)
- **登録の際は、ドアホン用PLCアダプターの機器1(TV)と機器2のインジケーターが消灯または緑点灯していることを確認し、テレビの電源を入れたあと3分以上経過してから操作を始めてください。**

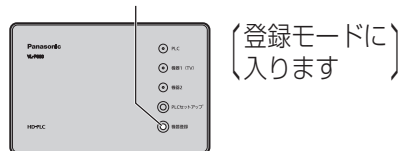
1 **テレビのリモコンの[メニュー]を押して、[▼][▲]で「設定する」を選び、[決定]を押す**

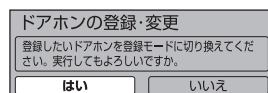
2 **[▼][▲]で「初期設定」を選び、[決定]を押す**

3 **[▼][▲]で「設置設定」を選び、[決定]を3秒以上押す**

4 **[▼][▲]で「ドアホン設定」を選び、[決定]を押す**

(設置設定2ページ目)

5 **[▼][▲]で「ドアホンの登録・変更」を選び、[決定]を押す**

6 **ドアホン用PLCアダプターの[機器登録ボタン]を約1秒間押す**

(登録モードに入ります)

- 機器1(TV)と機器2のインジケーターがオレンジ点滅をはじめてから、約5分以内に手順7の操作を行ってください。

7 **確認画面で[◀]を押して「はい」を選び、[決定]を押す**

- ドアホン用PLCアダプターを自動検索し、設定が行われます。

8 終わったら、
[元の画面]を押す

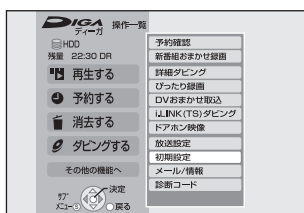
お知らせ

- 「ドアホンに登録できませんでした。ドアホンに登録できる台数を超えています。」と表示された場合は、65ページを参照してください。
- 上記以外のメッセージが表示された場合は、お使いのテレビの取扱説明書をお読みください。

ドアホン用PLCアダプターをレコーダーに登録する

レコーダーの「ドアホンの接続設定」で、ドアホン用PLCアダプターをレコーダーに登録してください。（登録できるレコーダーは、1台のみです。）

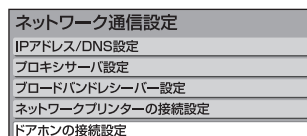
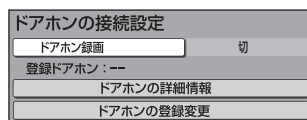
- 登録については、お使いのレコーダーの取扱説明書をお読みください。
  （下記の操作は (DMR-BW900/BW800/BW700 DMR-XW300/XW200V/XW100) の例です。）
- 登録の際は、レコーダーを接続したテレビに、レコーダーの画面を表示しておいてください。また、ドアホン用PLCアダプターの機器1（TV）と機器2のインジケーターが消灯または緑点灯していることを確認してから操作を始めてください。

1 レコーダーの停止中に、
レコーダーのリモコンの[操作一覧]を押して、[▼][▲]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

2 **[▼][▲]で「初期設定」を選び、[決定]を押す**

3 **[▼][▲]で「ネットワーク通信設定」を選び、[決定]を押す**

4 **ドアホン用PLCアダプターの[機器登録ボタン]を約1秒間押す**

- 機器1（TV）と機器2のインジケーターがオレンジ点滅をはじめてから、約5分以内に手順5の操作を行ってください。

5 **[▼][▲]で「ドアホンの接続設定」を選び、[決定]を押す**

6 **[▼][▲]で「ドアホン録画」を選び、[決定]を押す**

7 **[▼][▲]で「入」を選び、[決定]を押す**

- 登録が完了したらレコーダーの本体表示窓の“⌂”が点灯します。

8 **[戻る]を数回押して、設定を終了する**

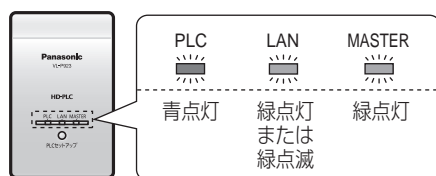
正しく接続・設定できているか確認する

アダプターのインジケーターを確認する

ドアホン用PLCアダプターをドアホン親機に接続し、マスターアダプターをテレビやレコーダーに接続して、設定が完了すると、インジケーターは以下のようになります。
点灯または点滅していない場合は、「困ったとき」の「インジケーター表示について」(☞60ページ)を参照してください。

■ ドアホン用PLCアダプター

テレビのみ接続		レコーダーのみ接続		テレビ／レコーダー接続	
PLC	青点灯	PLC	青点灯	PLC	青点灯
機器1（TV）	緑点灯または緑点滅	機器1（TV）	消灯	機器1（TV）	緑点灯または緑点滅
機器2	消灯	機器2	緑点灯または緑点滅	機器2	緑点灯または緑点滅

■ マスターアダプター

動作を確認する

ドアホン用PLCアダプターとマスターアダプターのインジケーターが正常であることを確認後(☞上記)、ドアホンからの呼び出しに連動して、テレビやレコーダーが正しく動作するか、以下の方法で確認してください。正しく動作しない場合は、「困ったとき」(☞57ページ)を参照してください。

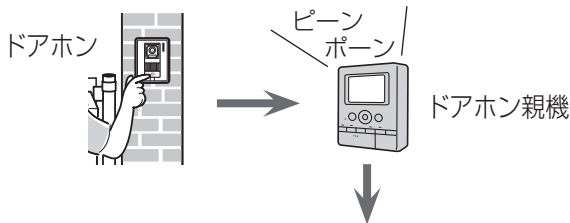
■ 動作を確認するための準備

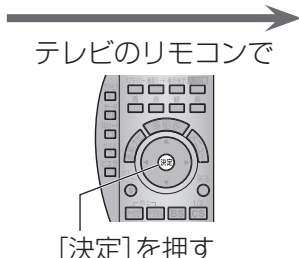
テレビ　　：ドアホン機能を使用する設定にしておく／テレビ放送を表示する

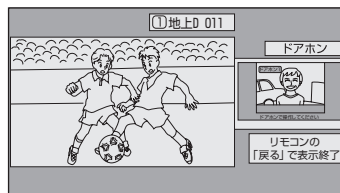
レコーダー：ドアホン録画の設定を「入」にしておく
（インジケーターが点灯）

● テレビやレコーダーの操作方法は、お使いのテレビやレコーダーの取扱説明書をお読みください。

■ 動作を確認する

ドアホンの呼出ボタンを押す

■テレビの場合（下記の操作は〔TH-65/58/50/42PZ750SK〕の例です）

画面に通知メッセージが表示される

テレビのリモコンで

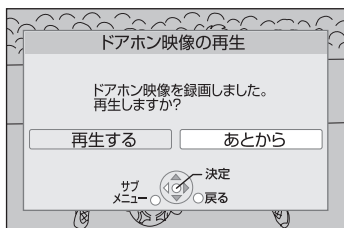
［決定］を押す

ドアホンの画像が表示されれば、正しく接続・設定できています。

● ドアホンの画像は、約1秒ごとに更新しながら表示されます。（動画ではありません。）更新間隔は、テレビなど使用環境で変わります。

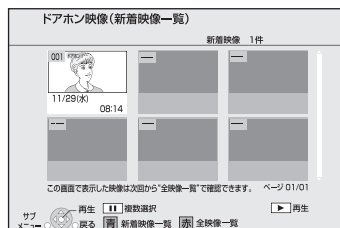
■レコーダーの場合（下記の操作は〔DMR-BW900/BW800/BW700 DMR-XW300/XW200V/XW100〕の例です）

ドアホンからの画像がレコーダーに送信されるとレコーダーのインジケーターが点滅します。
点滅確認後、レコーダーに正しく録画されているか確認してください。
（ドアホン画像の録画再生について詳しくは、お使いのレコーダーの取扱説明書をお読みください。）

インジケーターが点滅

レコーダーの電源を入れ、テレビの入力をレコーダーとの接続にあわせて切り替える（ビデオ1など）

画面に通知メッセージが表示される

レコーダーのリモコンで

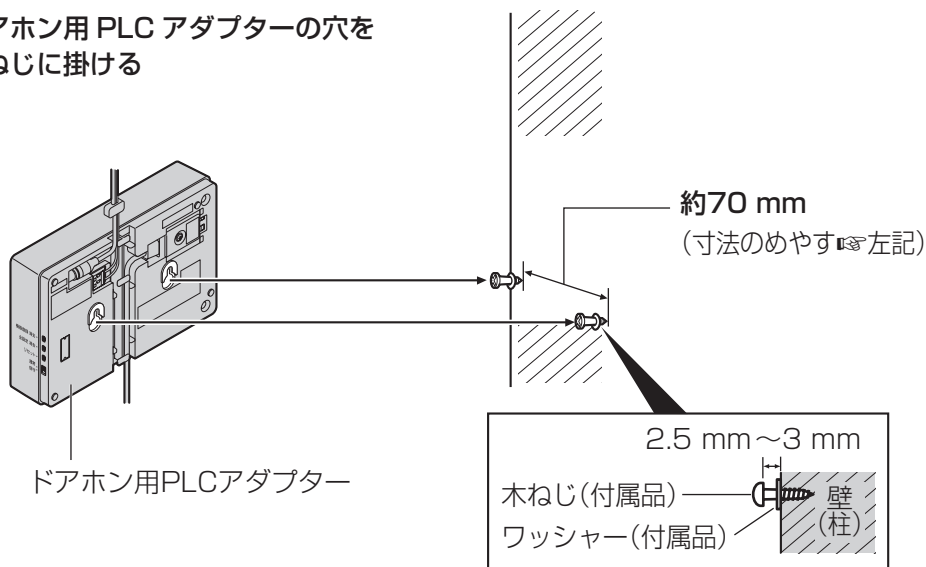
「再生する」を選び、［決定］を押す

ドアホンの画像が表示されれば、正しく接続・設定できています。

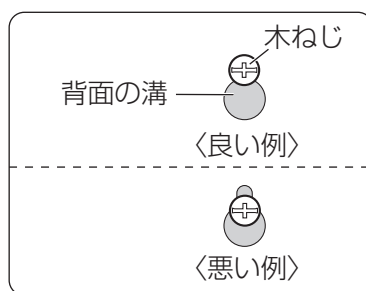
● 録画は最大で約30秒です。レコーダーのみをドアホン用PLCアダプターに登録してご使用の場合、ドアホンの画像は、約0.1秒ごとに更新しながら録画されます。更新間隔は、登録されたテレビの台数や使用環境で変わります。

ドアホン用PLCアダプターを壁(柱)に取り付けるとき

放熱のため、ドアホン用PLCアダプターの周囲には、できるだけ10 cm以上の空間をとってください。

1 付属の木ねじ・ワッシャーを壁(柱)に取り付け、ドアホン用PLCアダプターを引っ掛けて固定する

❶ ドアホン用 PLC アダプターの穴を木ねじに掛ける

❷ ドアホン用 PLC アダプターを押し下げ、しっかり固定する

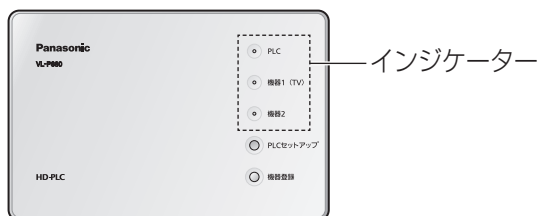
⚠ 注意

壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付ける

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

● 石こうボード、ALC (軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ18 mm以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付けてください。

インジケーターの動作について

ドアホン用PLCアダプターのインジケーター

ドアホン用PLCアダプターの状況により、インジケーターの点灯状態は変わります。

■ 通常のご使用時

インジケーター	点灯状態	表示内容
PLC	青点灯	• アダプターが「HD-PLC」ネットワークに接続されています。
機器1(TV) ※1	緑点灯	• テレビの電源が入り、ドアホンを使用する設定になっています。
	緑点滅	• テレビにデータを送信中です。
機器2	緑点灯	• レコーダーで「ドアホン録画」設定が「入」になっています。
	緑点滅	• レコーダーにデータを送信中です。

※1 テレビを2台登録されている場合は、2台のうちのどちらか、または両方の状態を表示しています。テレビの主電源を「切」にしても、約5分間は点灯しています。

■ 登録中や異常の場合

インジケーター	点灯状態	表示内容
PLC	青点滅	• マスターアダプターにドアホン用PLCアダプターを登録中です。
	青点滅(5秒ごと)	• マスターアダプターが、「HD-PLC」ネットワーク上に見つかりません。マスターアダプターの電源を入れてください。
	赤点灯(5秒間)	• マスターアダプターへの登録中にエラーが起きました。再度登録してください。
	赤点灯	• アダプターの故障で「HD-PLC」ネットワークに接続できません。お買い上げの販売店へご連絡ください。
	紫点灯	• 「保守」モードに設定されています。パソコンからの操作(☞46ページ)が終わったら、通常/保守モード切替スイッチを「通常」に設定し、リセットスイッチを押して再起動してください。
	紫点滅(5秒ごと)	• 「保守」モードに設定中で、マスターアダプターが「HD-PLC」ネットワーク上に見つかりません。マスターアダプターの電源を入れてください。
	消灯	• アダプターが正しく接続されていません。 • アダプターが、「HD-PLC」ネットワークに接続されていません。 • ドアホン用PLCアダプターの電源が入っていません。

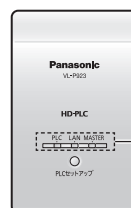
インジケーターの動作について(つづき)

インジケーター	点灯状態	表示内容
機器1(TV)	オレンジ点滅	• テレビまたはレコーダーにドアホン用PLCアダプターを登録中です。 • 「HD-PLC」ネットワークを検出中です。 • アダプターが、「HD-PLC」ネットワークに接続されていません。マスターアダプターに、ドアホン用PLCアダプターを登録してください。
	赤点灯(5秒間)	• テレビまたはレコーダーにドアホン用PLCアダプターを登録中、エラーが起きました。再度登録してください。
	赤点滅	• ドアホン用PLCアダプターと同じIPアドレスを持つネットワーク機器があります。(☞61ページ)
	消灯	• テレビにドアホン用PLCアダプターが登録されていません。 • テレビがドアホン機能を使用しない設定になっています。 • テレビの電源が入っていません。 • ドアホン用PLCアダプターの電源が入っていません。
機器2	オレンジ点滅	• テレビまたはレコーダーにドアホン用PLCアダプターを登録中です。 • 「HD-PLC」ネットワークを検出中です。 • アダプターが、「HD-PLC」ネットワークに接続されていません。マスターアダプターに、ドアホン用PLCアダプターを登録してください。
	赤点灯(5秒間)	• テレビまたはレコーダーにドアホン用PLCアダプターを登録中、エラーが起きました。再度登録してください。
	赤点滅	• ドアホン用PLCアダプターと同じIPアドレスを持つネットワーク機器があります。(☞61ページ)
	消灯	• レコーダーにドアホン用PLCアダプターが登録されていません。 • レコーダーで「ドアホン録画」設定が「切」になっています。 • レコーダーの電源が入っていません。 • ドアホン用PLCアダプターの電源が入っていません。

お知らせ

● 通常、機器1(TV)はテレビ接続時のみ、機器2はレコーダー接続時のみ点灯・点滅しますが、起動時や登録中などは、接続状態にかかわらず、両方のインジケーターが点灯・点滅します。

マスターアダプターのインジケーター

マスターアダプターの状況により、インジケーターの点灯状態は変わります。

■ 通常のご使用時

インジケーター	点灯状態	表示内容
PLC	青点灯	• アダプターが「HD-PLC」ネットワークに接続されています。
LAN	緑点灯	• テレビやレコーダー、ネットワーク機器（ブロードバンドルーター、パソコンなど）が、アダプターに接続されています。
	緑点滅	• データを送受信中です。
MASTER	緑点灯	• マスターアダプターであることを表示しています。

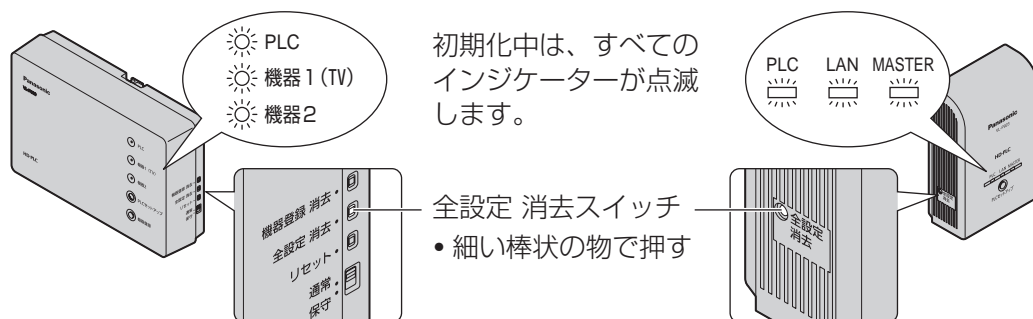
■ 登録中や異常の場合

インジケーター	点灯状態	表示内容
PLC	青点滅	• マスターアダプターにドアホン用PLCアダプターを登録中です。
	青点滅（5秒ごと）	• ドアホン用PLCアダプターが、「HD-PLC」ネットワーク上に見つかりません。ドアホン用PLCアダプターの電源を入れてください。
	赤点灯（5秒間）	• マスターアダプターにドアホン用PLCアダプターを登録中、エラーが起きました。再度登録してください。
	赤点灯	• アダプターの故障で「HD-PLC」ネットワークに接続できません。お買い上げの販売店へご連絡ください。
	消灯	• アダプターが正しく接続されていません。 • アダプターが「HD-PLC」ネットワークに接続されていません。マスターアダプターに、ドアホン用PLCアダプターを登録してください。 • マスターアダプターの電源が入っていません。
LAN	オレンジ点灯	• テレビやレコーダー、ネットワーク機器（ブロードバンドルーター、パソコンなど）が接続されていません。 • テレビやレコーダー、ネットワーク機器の電源が入っていません。
	消灯	• マスターアダプターの電源が入っていません。
MASTER	緑点滅（10秒間）	• マスターアダプターに、ドアホン用PLCアダプターが登録されました。
	消灯	• ターミナルアダプターとして登録されています。 • マスターアダプターの電源が入っていません。

アダプターを初期化する

以下のような場合、アダプターを初期化してください。

- **他人に譲渡するとき、廃棄するとき**
  ➔ 対象となるアダプターを初期化してください。
- **マスターアダプターにドアホン用PLCアダプターを登録中、エラーを起こしたとき**
  ➔ 登録中のドアホン用PLCアダプターを初期化してください。

1 初期化するアダプターの[全設定 消去スイッチ]を、アダプターのインジケーターが点滅するまで押す(約3秒間)

2 アダプターのインジケーターが点灯する

- マスターアダプターの場合、インジケーターの点滅が停止したあと点灯すると初期化は終了です。
- ドアホン用PLCアダプターの場合、PLCインジケーターが消灯し、機器1(TV)と機器2のインジケーターが、オレンジ点滅に変わると初期化は終了です。

お願い

- 初期化中(インジケーター点滅中)は、絶対に電源プラグを抜かないでください。
  初期化が完了するまで、30秒程度かかる場合があります。

お知らせ

- ドアホン用PLCアダプターを初期化すると、マスターアダプターへの登録情報およびテレビやレコーダーの登録情報が消去されます。使用するときは、ドアホン用PLCアダプターを、マスターアダプター(☞41ページ)と、テレビ(☞32ページ)と、レコーダー(☞33ページ)に登録し直してください。
- マスターアダプターの登録情報は残し、テレビやレコーダーの登録情報だけをドアホン用PLCアダプターから消去したいときは ➔ 45ページ「テレビやレコーダーの登録情報を消去する」
- マスターアダプターを初期化したときは、ドアホン用PLCアダプターを登録し直してください。(☞41ページ)

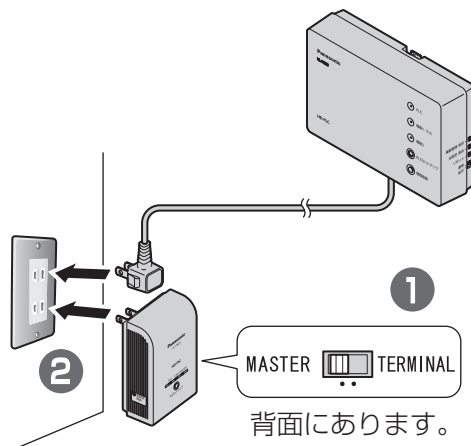
アダプターを再登録する

マスターアダプターまたはドアホン用PLCアダプターを初期化したあとは、以下の手順で、マスターアダプターにドアホン用PLCアダプターを再登録してください。

● **本製品のドアホン用PLCアダプターは、お買い上げ時にはマスターアダプターに登録されていますので、登録作業は不要です。**

1 マスターアダプターの[モード切替スイッチ]が、「MASTER」側になっていることを確認する(❶)

● [モード切替スイッチ]は、電源プラグを電源コンセントから抜いた状態で、切り替えてください。

背面にあります。

2 それぞれの電源プラグを、同じ電源コンセントに差し込む(❷)

● 別の電源コンセントに差し込むと、登録できない場合があります。

お願い

● 電源プラグは、壁の電源コンセントに直接差し込んでください。

3 マスターアダプターの[PLCセットアップボタン]を、約1秒間押す

● マスターアダプターのPLCインジケーターが、青点滅を開始します。

マスターアダプター

（次ページにつづく）

アダプターを再登録する(つづき)

4 **5秒以内に、ドアホン用PLCアダプターの[PLCセットアップボタン]を、約1秒間押す**

● ドアホン用PLCアダプターのPLCインジケーターが、青点滅を開始します。
● 登録中は、「HD-PLC」ネットワークが、最大20秒間遮断されることがあるため、アダプターに接続しているネットワーク機器は通信ができなくなることがあります。

ドアホン用PLCアダプター

5 **登録が完了すると、PLCインジケーターが青点灯する**

お願い

● 登録中(インジケーター点滅中)は、絶対に電源プラグを抜かないでください。
登録が完了するまで、30秒程度かかる場合があります。

お知らせ

● PLCインジケーターが青点灯していないときは、「HD-PLC」ネットワークに接続されていません。「困ったとき」の「インジケーター表示について」(☞60ページ)を参照してください。

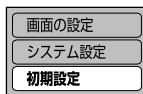
6 **登録後、電源プラグを電源コンセントから抜き、アダプターを使用したい場所に設置して(☞26～33ページ)、動作の確認をする(☞34ページ)**

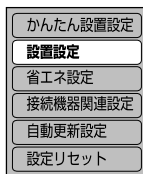
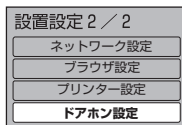
ドアホン用PLCアダプターの登録情報を見る

テレビを接続してご使用の場合は、テレビの操作で、ドアホン用PLCアダプターに登録されているテレビやレコーダーの情報（MACアドレス）を確認できます。

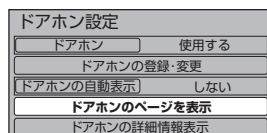
● レコーダーのみを接続してご使用の場合は、この操作はできません。

● **操作については、お使いのテレビの取扱説明書をお読みください。**
（下記の操作は〔TH-65/58/50/42PZ750SK〕の例です。）
テレビやレコーダーのMACアドレスについては、お使いのテレビやレコーダーの取扱説明書をお読みください。

1 **テレビのリモコンの[メニュー]を押して、[▼][▲]で「設定する」を選び、[決定]を押す**

2 **[▼][▲]で「初期設定」を選び、[決定]を押す**

3 **[▼][▲]で「設置設定」を選び、[決定]を3秒以上押す**

4 **[▼][▲]で「ドアホン設定」を選び、[決定]を押す**

（設置設定2ページ目）

5 **[▼][▲]で「ドアホンのページを表示」を選び、[決定]を押す**

● ドアホン用PLCアダプターに登録されていない場合、[決定]の操作ができません。

［例：テレビ1台とレコーダーを登録していた場合］

6 終わったら、
[元の画面]を押す

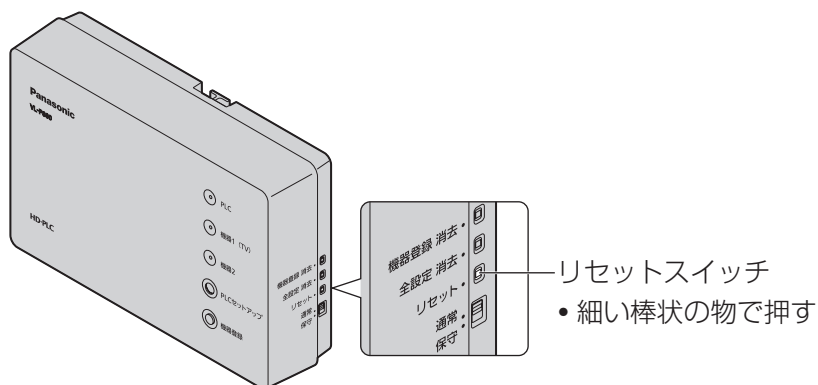
その他の機能

アダプターを再登録する（つづき）／ドアホン用PLCアダプターの登録情報を見る

ドアホン用PLCアダプターを再起動する

リセットスイッチを押すと、ドアホン用PLCアダプターを再起動します。

1 ドアホン用PLCアダプターの[リセットスイッチ]を押す

● すべてのインジケーターが約2秒間点灯後、再起動します。

お知らせ

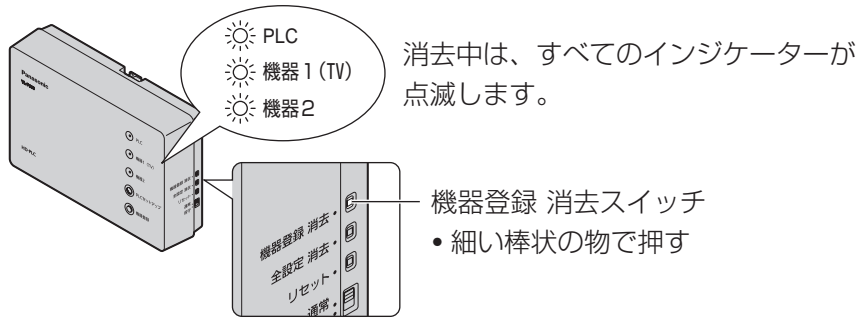
● マスターアダプターを再起動する場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、再度差し込んでください。

テレビやレコーダーの登録情報を消去する

この操作は、以下のような場合に行ってください。

- ドアホン用PLCアダプターを、すでに2台のテレビに登録しているが、別のテレビに登録し直したい場合
- 登録した覚えのないテレビやレコーダーの登録が表示される場合

ただし、この操作をすると、ドアホン用PLCアダプターに登録されたすべてのテレビやレコーダーの登録情報が消去されます。
消去後は必ず、ご使用になるテレビやレコーダーに再度ドアホン用PLCアダプターを登録してください。(☞32、33ページ)

1 ドアホン用PLCアダプターの[機器登録 消去スイッチ]を、インジケーターが点滅するまで押す(約3秒間)

2 アダプターの機器1(TV)と機器2のインジケーターが、消灯する

- 登録情報が消去されると、インジケーターの点滅が停止し、消灯します。

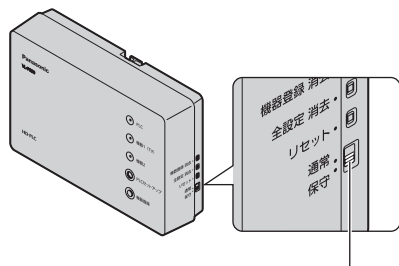
お願い

- 消去中(インジケーター点滅中)は、絶対に電源プラグを抜かないでください。
  消去が完了するまで、30秒程度かかる場合があります。

アダプターの設定画面について

アダプターの設定画面をパソコンのウェブブラウザで見ることができます。ドアホン用PLCアダプターの設定画面を見るときは、「保守」モードに設定してください。
設定画面では、以下の操作ができます。

- アダプターのファームウェアのバージョンやMACアドレスなどの確認
- アダプターのIPアドレスの表示／変更、パスワードの変更、登録アダプターの一覧表示／削除など

- 「保守」モードにするときは、通常/保守モード切替スイッチを「保守」に設定してから、再起動（☞44ページ）してください。

通常/保守モード切替スイッチ

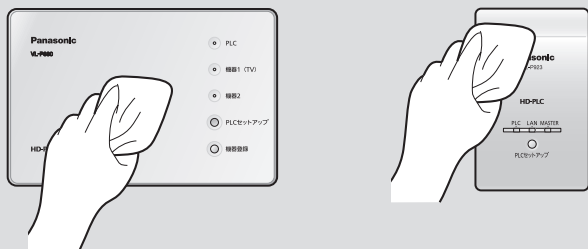
詳しくは、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.co.jp/pcc/cs/faq/tvdfon/faq_la.html）を参照してください。

お知らせ

- アダプターのMACアドレスは、それぞれ本体の背面に記載しています。
  ドアホン用PLCアダプターの「MAC2」は、マスターアダプターとの通信に使われるMACアドレスです。

お手入れ

お手入れするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

柔らかい布で、からぶきする

お願い

- アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯は使わないでください。また、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質の原因になります）

別売品

ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

価格は2007年11月現在のものです。

製　品　名	品　番	希望小売価格
PLC用ノイズフィルター 松下テクニカルサービス（株）扱い	VL-P910	1,780 円（税込）

仕様

■「HD-PLC」インターフェース

周波数範囲	4 MHz～28 MHz
変調方式	Wavelet OFDM方式（16 PAM～2 PAM）
通信速度（PHYレート）	最大190 Mbps※1
アクセス方式	CSMA/CA
エラー訂正方式	符号化：畳み込み符号とリードソロモンの連接符号 復号化：ビタビ復号およびリードソロモン復号
セキュリティ	AES 128 bit暗号化
通信距離	最大150 m※2

※1 通信速度は、理論上の数値です。
※2 通信距離は使用環境によって変化します。
（12～13ページの「使用環境について」をお読みください。）

ドアホン用PLCアダプター

■ PLCインターフェース

規格	「HD-PLC」方式

■ ユーザーインターフェース

インジケーター表示	PLC〈青／赤／紫〉 機器1（TV）〈緑／オレンジ／赤〉 機器2〈緑／オレンジ／赤〉
ボタン／スイッチ	PLCセットアップボタン 機器登録ボタン 機器登録 消去スイッチ 全設定 消去スイッチ リセットスイッチ 通常/保守モード切替スイッチ
端子	映像入力：RCAジャック（NTSC方式、1 Vp-p/75 Ω） A接点入力

■ その他

使用環境	温度：0 ℃～40 ℃ 湿度：20 %～85 %（結露なきこと）
外形寸法	幅×高さ×奥行き：約165 mm×約110 mm×約42 mm （突起部除く）
質量	約440 g（電源コード含む）
電源	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力	約4.2 W

PLCアダプター(VL-SP880同梱用)

■ PLCインターフェース

規格	「HD-PLC」方式
マスターアダプターに接続できるネットワーク機器の台数※1	8台※2 (推奨台数)

※1 アダプターに接続するネットワーク機器の台数が多いほど、アダプターの性能に影響を与えます。
※2 4台以上の接続には、スイッチングハブ(市販品)を利用してください。

■ LANインターフェース

物理インターフェース	IEEE 802.3 (10Base-T) IEEE 802.3u (100Base-TX) MDI/MDI-X自動検知有
対応プロトコル	TCP/IP、UDP、HTTP (IPv4/IPv6)
アクセス方式	CSMA/CD

■ ユーザーインターフェース

インジケーター表示	PLC〈青/赤〉 LAN〈緑/オレンジ〉 MASTER〈緑〉
ボタン/スイッチ	PLCセットアップボタン モード切替スイッチ (MASTER/TERMINAL) 全設定 消去スイッチ

■ その他

使用環境	温度：0 ℃～40 ℃ 湿度：20 %～85 % (結露なきこと)
外形寸法	幅×高さ×奥行き：約72 mm×約116 mm×約41 mm(電源プラグは除く)
質量	約200 g(本体のみ)
電源	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力	約4 W

PLC用ノイズフィルター(VL-SP880同梱用)

使用環境	温度：0 ℃～40 ℃ 湿度：20 %～85 %(結露なきこと)
外形寸法	幅×高さ×奥行き：約55 mm×約41 mm×約28 mm(電源プラグは除く)
質量	約95 g(本体のみ)
電源	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
最大定格電力	1500 W

用語解説

数字・英字

10Base-T

ネットワーク規格の一種で、電話線コードで使われている「より対線」(Twisted Pair Cable)を、ハブにたこ足状に配線してネットワークを構築します。10Base-Tの「10」はデータの伝送速度で10 Mbpsで転送できることを示します。

100Base-TX

10Base-Tのケーブルをそのまま利用して、転送能力を10倍の100 Mbpsにしたものです。ケーブルにカテゴリー5と呼ばれるケーブルを使っておけば、10Base-Tから100Base-TXへは機材を取り替えるだけで移行できます。

AES128 bit暗号化方式

(Advanced Encryption Standard)
米国商務省標準技術局(NIST)によって選定された米国政府の次世代標準暗号化方式です。米国商務省標準技術局(NIST)のかつての標準暗号DES(64 bit)が、解読専用機によって22時間で解読されたと言われているのに対し、同じ解読機では10の17乗年かかると言われるほど、強固な安全性を持っている暗号です。

CSMA/CA

(Carrier Sense Multiple Access with Collision Avoidance)
無線LANに用いられているアクセス制御方式の1つです。

CSMA/CD

(Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection)
搬送波感知多重アクセス／衝突検出方式の略称。LANにおけるメディア・アクセス制御技術の1つです。データを送信したい機器はケーブルの通信状況を監視し、ケーブルが空くと送信を開始します。

DHCPサーバー機能

(Dynamic Host Configuration Protocol)
各パソコンがネットワークを利用するのに必要な情報をサーバーから自動的に取得するプロトコルです。DHCPサーバーは、IPネットワークに関連した情報(IPアドレスの割り振り範囲やデフォルトゲートウェイなど)を保持しており、DHCPクライアントから要求がくると、それらの情報を割り振ります。

HD-PLC

松下電器が提唱する高速電力線通信方式の名称です。「HD-PLC」は商標です。

HTTP

(HyperText Transfer Protocol)
WebサーバとWebクライアント(Webブラウザ)の間において、インターネット経由で情報交換を行う際に使用される通信プロトコルのことです。

IEEE 802.3 (10Base-T)

米国電機電子技術者協会(IEEE)で発表されたイーサネット(Ethernet)に関する規格のことです。通信回線上に流れるデータの検出や、データの衝突の検出に関して従来の方式を改善し、10 Mbpsの転送速度を実現したため、近年イーサネットの主流となっています。10Base-T(テンベースティー)はカテゴリ3以上のUTPケーブルを使い、各末端機器とハブとを結んでスター状に配線をするイーサネットです。

IEEE 802.3u (100Base-TX)

100Base-TX(ヒャクベースティーエックス)は伝送路としてカテゴリ5以上のUTPケーブル内の2対4線を使用します。IEEE 802.3uとして標準化。

IPv4
Internet Protocol version 4の略。IPv4は、現在のインターネットで利用されている標準のプロトコルで、32ビットのアドレス空間(42億9496万7296台の端末をサポートできる)を持っています。

IPv6
Internet Protocol version 6の略。増加するインターネットの使用者に対応するため、現在のIP(IPv4)に代わるものとしてIETF(Internet Engineering Task Force)内のIPNGワーキンググループで準備が進められてきたプロトコルです。IPv6には、IPアドレスの128ビット化(IPv4は32ビット)、パケットヘッダの簡素化、セキュリティ機能の追加などが盛り込まれています。

IPアドレス(Internet Protocol Address)
IPプロトコルで使用するためのアドレス情報。IPで通信するすべてのネットワーク機器にはこのIPアドレスを割り振っておかなければなりません。特に、インターネットに接続されているネットワーク機器(端末)では、世界中でユニークな(単一な)IPアドレスを割り振っておく必要があります。

LANケーブル(ストレートケーブル)
通常は、パソコンとイーサネットハブを接続するためのケーブルの種類です。

MAC(Media Access Control)アドレス
LANカードなどに固有でつけられている物理アドレスのことです。00:11:22:AA:BB:CCといった形式で表されます。同じMACアドレスをもつLANカードは存在しません。すべて異なる物理アドレスが割り振られています。

MDI/MDI-X自動検知
接続したEthernetケーブルのストレート／クロスの種別を自動認識することです。
どちらのケーブルもそのまま接続してご利用いただくことが可能です。

PAM
(Pluggable Authentication Module)
各種の認証処理を実行するモジュール群と、それを利用するための標準的なAPI(Application Programming Interface)を備えたライブラリからなるユーザー認証システムのことです。

PLC-J(高速電力線通信推進協議会)
(High Speed Power Line Communication Promoters' Alliance of Japan)
電力線通信の高速化技術、既存システムとの共存技術の検証を行い、日本国内での高速電力線通信の早期実用化を目指す協議会です。

TCP
Transmission Control Protocolの略。インターネットで利用される標準プロトコルで、OSI参照モデルのトランスポート層にあたります。ネットワーク層のIPと、セッション層以上の信頼性の高いデータ伝送プロトコル(HTTP、FTP、SMTP、POPなど)の橋渡しをします。
TCPは、コネクション型のプロトコルでデータ転送に先立って、通信先と論理的な通信経路を確立したり、通信条件を決めるためにネゴシエーションをしたりします。通信相手の状態にかかわらずデータ伝送を開始します。UDPより信頼性は高いが転送速度が低い。

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークプロトコルの1つです。UNIXワークステーションおよびインターネットにおける標準プロトコルです。

用語解説(つづき)

UDP
User Datagram Protocolの略。インターネットで利用される標準プロトコルで、OSI参照モデルのトランスポート層にあたります。ネットワーク層のIPと、セション層以上のプロトコルの橋渡しをします。
UDPは、コネクションレス型のプロトコルで、通信相手の状態にかかわらずデータ伝送を開始します。DNS、SMTPや動画・音声送信などのマルチメディア系アプリケーションのデータ転送プロトコルとして使われます。伝送中に一部のパケットがなくなった場合は、上位の層であるアプリケーション層のプログラムがエラーを回復するための処理を行います。TCPより転送速度は高いが信頼性が低い。

Wavelet OFDM方式
周波数利用効率が非常に高い直交周波数分割多重OFDM(Orthogonal Frequency Division Multiplexing)を採用し、各サブキャリアの直交化にWavelet変換を適用して、高効率な高速データ通信を実現する松下電器の独自技術です。Wavelet OFDMは、周波数領域および時間領域に直交性を備えた結果、冗長信号なしに各サブキャリアのサイドローブレベルを低減しています。

50音順

インターネット
地球規模でマルチメディア通信ができるネットワークです。プロバイダーがインターネットへの接続サービスを行っています。

ハブ
10Base-T/100Base-TXネットワークで用いられる集線装置です。8ポートや4ポートなど、複数のポート数を持つ装置があります。

ブロードバンドルーター
異なるネットワーク同士を相互接続するネットワーク機器のことです。異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータをきちんと目的の場所に届ける役目を持っています。ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワーク宛であれば、ルーターはそのデータを外部に送り出し、ルーターはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送り出しています。

モデム
変復調装置：Modeulator-Demodulatorの略。コンピュータから送られてくるデジタルデータを音声信号に変換して電話回線に流したり、電話回線を通じて聞こえてくる音声信号をデジタルデータに変換したりします。
加入者→電話局方向とその逆の通信速度が同じである上下対称型では33.6 kbps、両者で通信速度が異なる上下非対称型では56 kbps(下流)が最高通信速度です。

ライセンスについて

本製品には thttpd-2.25b、OpenSSL、SSL、NetBSDでライセンスされるソフトウェアが含まれています。**義務に従いライセンスを記載しています。**

LICENSE ISSUES

This product uses some parts of thttpd-2.25b, OpenSSL, SSL, NetBSD.
The use of parts described above are based on the license below.

<OpenSSL>
==
Copyright (c) 1998-2002 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
==
Some parts of the OpenSSL are provided with the following copyright notices with license noted above.
Copyright (c) 1998-2000 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Some parts of the OpenSSL are provided with the following notice.
==
rijndael-alg-fst.c

@version 3.0 (December 2000)

Optimised ANSI C code for the Rijndael cipher (now AES)

ライセンスについて（つづき）

@author Vincent Rijmen <vincent.rijmen@esat.kuleuven.ac.be>
@author Antoon Bosselaers <antoon.bosselaers@esat.kuleuven.ac.be>
@author Paulo Barreto <paulo.barreto@terra.com.br>

This code is hereby placed in the public domain.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

==

<SSL>

==

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]
==

<thttpd-2.25b>
==

==

Some parts of the thttpd-2.25b are provided with the following copyright notices with license noted above.

Some parts of the thttpd-2.25b are provided with the following copyright notices and license.
==

==

ライセンスについて（つづき）

<NetBSD>
===
This product uses a part of NetBSD kernel. The use of a part of NetBSD kernel is based on the typical BSD style license below. Copyright (c) The Regents of the University of California. All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors. 4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE

Parts of the NetBSD Kernel are provided with the licenses that are slightly different from the above Berkeley-formed license. Please refer the source code of the NetBSD Kernel about the details. The source code of the NetBSD Kernel is provided by the NetBSD CVS Repositories (http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/), and this product includes parts of the source code in the following directories.
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/kern/
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/net/
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/netinet/

困ったとき

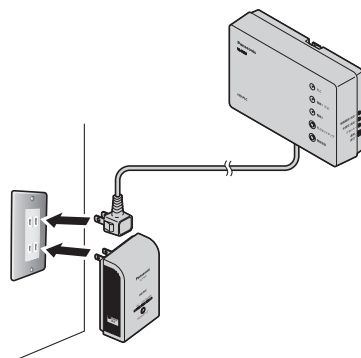
故障かなと思われる症状の場合は、修理を依頼する前に、**まず以下の「接続できなかったときには」の内容を確認してください。**それでも、症状が改善しない場合は、60〜65ページの内容を確認してください。

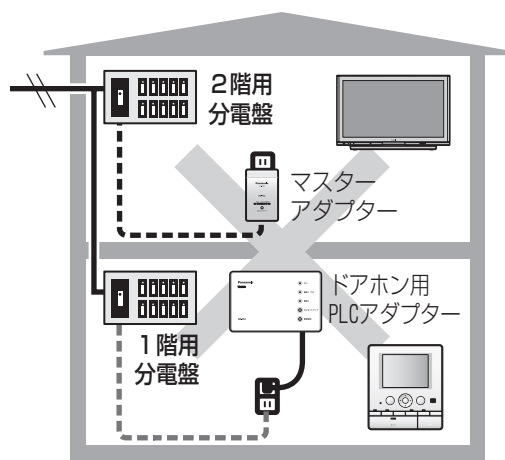
最新情報は、パナソニックのサポートウェブサイト
http://panasonic.co.jp/pcc/cs/faq/tvdfon/faq_la.html に掲載しています。

● 接続できなかったときには（PLCインジケーターが青点滅している） ●

接続確認時(☞26、34ページ)に、PLCインジケーターが青点滅しているときには、以下の5項目を確認ください。

1. 同じ電源コンセントに、マスターアダプターとドアホン用PLCアダプターを差し込み、青点滅が青点灯になるか確認する

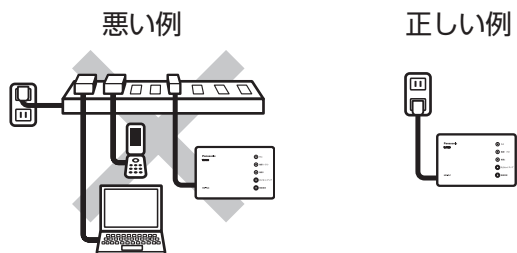
➔ 青点灯になったときには、各々の設置場所に障害がある可能性があります。次ページの「接続できなかったときには(通信速度が遅い)」を確認してください。
青点滅のままの場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

2. 設置場所のマスターアダプターとドアホン用PLCアダプターの電源コンセントは、同じ分電盤からきていますか？
(2世帯住宅など分電盤が2つ以上あるなど)

➔ 1つの分電盤の中でのみ通信可能です。
2世帯住宅などで分電盤が2つ以上ある場合は、分電盤を越えて通信できません。

3. マスターアダプターまたはドアホン用PLCアダプターの電源プラグに、ノイズフィルターをつけてつないでいませんか？

➔ マスターアダプターとドアホン用PLCアダプターは壁の電源コンセントに直接差し込んでください。
ノイズフィルターは、他の電化製品などを接続しているテーブルタップの電源プラグに接続してください。

（次ページにつづく）

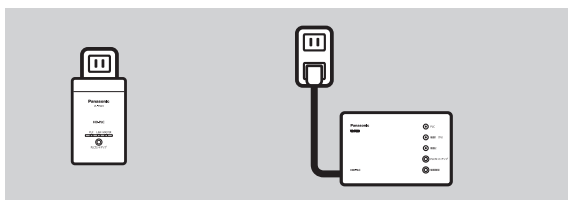
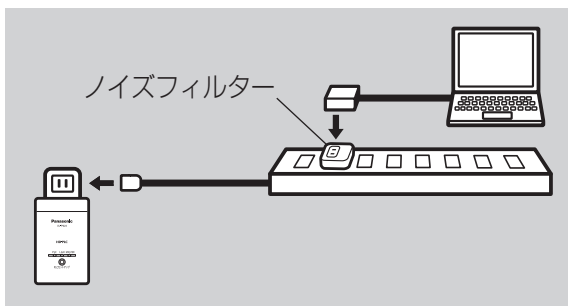
4. テーブルタップなどに、他の電化製品と一緒につないでいませんか？

●マスターアダプターとドアホン用PLCアダプターは、壁の電源コンセントに直接差し込み、他の電化製品がつながっているテーブルタップの電源プラグにノイズフィルターをつけてください。

5. どうしてもテーブルタップを使用しないと電源コンセントから届かない場合は、ノイズフィルター付きや雷サージ対応のテーブルタップは使用しないでください。信号が減衰されます。

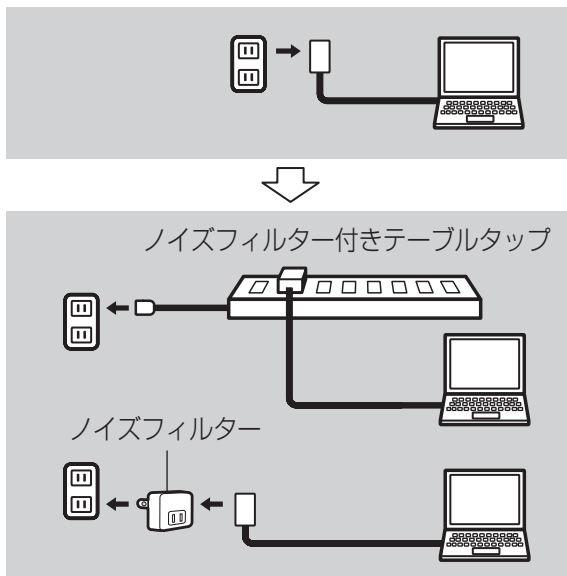
接続できなかったときには（通信速度が遅い）

アダプター間の通信速度が遅いとき(☞27ページ)には、以下の3項目を確認ください。

1. テーブルタップに、他の電化製品と一緒につないでいませんか？

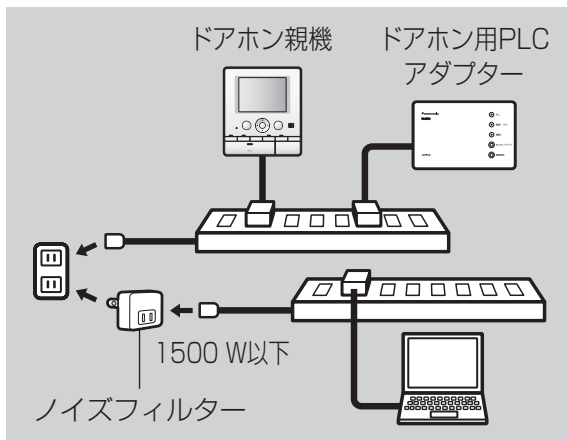
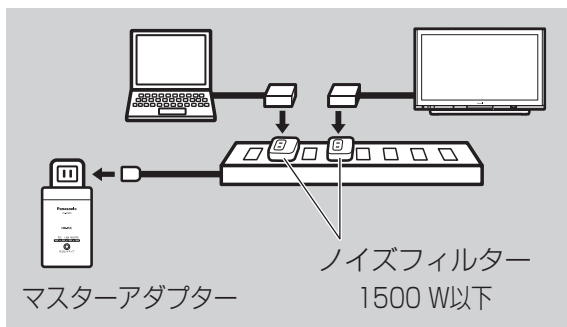
●マスターアダプターとドアホン用PLCアダプターは、壁の電源コンセントに直接差し込んでください。

●同じ壁の電源コンセントに、他の電化製品を接続する際は、その電化製品の電源プラグの先にノイズフィルターをつけて、テーブルタップに差し込んでください。

2. アダプターと同じ部屋で使用している電化製品を、電源コンセントから外してみながら確認する

➔ 他の電化製品を電源コンセントから外したときに、接続できるようになったり、アダプター間の通信速度が速くなることがあります。

その電化製品は、ノイズフィルターまたはノイズフィルター付きのテーブルタップに差し込んでご使用ください。

<ノイズフィルターに接続をおすすめする電化製品>

- 携帯電話の充電器、パソコン、モデムやルーターのACアダプター
- ドライヤーなど

3. ドアホン用PLCアダプターを壁の電源コンセントに直接差し込まずに接続していませんか？

➔ ドアホン用PLCアダプターがどうしても壁の電源コンセントに直接差し込めない場合、テーブルタップを使い「ドアホン用PLCアダプターとドアホン親機」を接続してください。その際、ドアホン用PLCアダプターとドアホン親機以外の電化製品は、同じテーブルタップには接続しないでください。

● マスターアダプターは、必ず、壁の電源コンセントに直接差し込んでください。

困ったとき(つづき)

インジケーター表示について

ドアホンの画像をテレビやレコーダーに表示・録画できない場合は、アダプターのインジケーターの状態で原因と対策を確認できます。

■ ドアホン用PLCアダプター

症状	原因と対策
すべてのインジケーターが点灯しない	●電源プラグが電源コンセントに接続されていない ➔ 電源プラグを電源コンセントに接続してください。
PLCインジケーターが5秒ごとに青点滅する PLCインジケーターが5秒ごとに紫点滅する	●マスターアダプターの電源が入っていない ➔ マスターアダプターの電源を入れてください。 ●マスターアダプターとドアホン用PLCアダプター間の距離が遠い、または近くに電気ノイズを発生する機器がある ➔ 別の電源コンセントにつなぎかえてください。 ●アダプターをノイズフィルターまたは、雷サージ対応のテーブルタップに接続している ➔ アダプターは壁の電源コンセントに直接接続してください。テーブルタップを使用する場合は、ノイズフィルター、雷サージ対応がされていないテーブルタップを使用してください。 ●電源コードの長いテーブルタップを使用している ➔ できるだけ電源コードが短いテーブルタップを使用してください。 ●マスターアダプターが初期化されている ➔ ドアホン用PLCアダプターを初期化(☞40ページ)したあと、アダプターを再登録してください。(☞41ページ)
PLCインジケーターが赤点灯する	●アダプターの故障で「HD-PLC」ネットワークに接続できない ➔ お買い上げの販売店へご連絡ください。
PLCインジケーターが5秒間赤点灯する	●マスターアダプターへの登録中にエラーが起きた ➔ 同じ壁の電源コンセントにマスターアダプターとドアホン用PLCアダプターを接続し、再度登録してください。(☞41ページ)
PLCインジケーターが紫点灯する	●「保守」モードに設定されている ➔ 通常/保守モード切替スイッチを「通常」に設定し、リセットスイッチを押して再起動してください。
機器1(TV)インジケーターが点灯しない	●テレビにドアホン用PLCアダプターが登録されていない ➔ ドアホン用PLCアダプターを登録してください。(☞32ページ) ●テレビがドアホン機能を使用しない設定になっている ➔ ドアホン機能を使用する設定にしてください。(☞設定については、テレビの取扱説明書をお読みください) ●テレビの電源が入っていない ➔ テレビのスタンバイ中または電源を入れると点灯します。

症 状	原因と対策
機器2インジケーターが点灯しない	●レコーダーにドアホン用PLCアダプターが登録されていない ➔ ドアホン用PLCアダプターを登録してください。(☞33ページ) ●レコーダーで「ドアホン録画」設定が「切」になっている ➔ レコーダーで「ドアホン録画」を「入」にしてください。(☞設定については、レコーダーの取扱説明書をお読みください) ●レコーダーの電源プラグが電源コンセントに接続されていない ➔ 電源コンセントに接続してください。
機器1(TV)と機器2のインジケーターが、5秒間赤点灯する	●テレビやレコーダーにドアホン用PLCアダプターを登録中、エラーが起きた ➔ 「HD-PLC」ネットワークが正常であることを確認し、ドアホン用PLCアダプターの登録をやり直してください。(☞32、33ページ)
機器1(TV)と機器2のインジケーターが、交互にオレンジ点滅する	●「HD-PLC」ネットワークを検出中 ➔ ネットワークが検出されるまでしばらくお待ちください。
機器1(TV)と機器2のインジケーターが、オレンジ点滅する	●ドアホン用PLCアダプターが、マスターアダプターに登録されていない ➔ マスターアダプターに登録してください。(☞41ページ)
機器1(TV)と機器2のインジケーターが、赤点滅する	●ネットワークに異常がある ➔ ドアホン用PLCアダプターと同じIPアドレスを持つネットワーク機器があります。パソコンでドアホン用PLCアダプターの設定画面から、IPアドレスがほかのネットワーク機器と同じ値にならないように設定してください。(☞46ページ)

■ マスターアダプター

症 状	原因と対策
すべてのインジケーターが点灯しない	●電源プラグが電源コンセントに接続されていない ➔ 電源プラグを電源コンセントに接続してください。
LANインジケーターがオレンジ点灯のまま、緑点灯または点滅しない	●LANケーブルが接続されていない ➔ LANケーブルの接続を確認してください。 ●テレビやレコーダーまたはネットワーク機器(ブロードバンドルーター、パソコンなど)の電源が入っていない ➔ テレビやレコーダーまたはネットワーク機器の電源を入れてください。

症 状	原因と対策
PLCインジケーターが点灯または点滅しない	● マスターアダプターの電源が入っていない ➔ マスターアダプターの電源を入れてください。 ● ドアホン用PLCアダプターの電源が入っていない ➔ ドアホン用PLCアダプターの電源を入れてください。 ● マスターアダプターとドアホン用PLCアダプター間の距離が遠い、または近くに電気ノイズを発生する機器がある ➔ 別の電源コンセントにつなぎかえてください。 ● アダプターをノイズフィルターまたは、雷サージ対応のテーブルタップに接続している ➔ アダプターは壁の電源コンセントに直接接続してください。テーブルタップを使用する場合は、ノイズフィルター、雷サージ対応がされていないテーブルタップを使用してください。 ● 電源コードの長いテーブルタップを使用している ➔ できるだけ電源コードが短いテーブルタップを使用してください。
PLCインジケーターが赤点灯する	● アダプターの故障で「HD-PLC」ネットワークに接続できない ➔ お買い上げの販売店へご連絡ください。
PLCインジケーターが5秒間赤点灯する	● マスターアダプターにドアホン用PLCアダプターを登録中、エラーが起きた ➔ 同じ壁の電源コンセントにマスターアダプターとドアホン用PLCアダプターを接続し、再度登録してください。(☞41ページ)

他の電化製品への影響について

症 状	原因と対策
短波ラジオに雑音が入る／調光機能付き照明器具やタッチランプが動作しない	● アダプターは、短波ラジオ、調光機能付き照明器具やタッチランプに影響を与えることがある ➔ これらの電化製品は、別の電源コンセントに接続してください。 ➔ これらの電化製品は、できるだけアダプターから離れた場所で使用してください。 ➔ 短波ラジオのアンテナまたはラジオを壁から離してください。それでも雑音が入る場合は、短波ラジオの周波数を別の周波数に切り替えてください。
「HD-PLC」仕様以外のPLCアダプターが動作しない	● 「HD-PLC」仕様以外のPLCアダプターは、「HD-PLC」ネットワークには接続できないため、動作しません。

通信速度について

症 状	原因と対策
画像が止まる、更新が遅い、または通信が途切れる	●一般家庭の単相三線式100 V配線には、L1相、L2相という2種類があります。L1相とL2相間の異相間通信の場合は、同相間の通信に比べて信号が減衰しやすく、一部の電源コンセント間で通信できない場合がある ➔ 通信できない場合は、接続する電源コンセントを変更して使用してください。 ●アダプターをノイズフィルターまたは、雷サージ対応のテーブルタップに接続している ➔ アダプターは壁の電源コンセントに直接接続してください。テーブルタップを使用する場合は、ノイズフィルター、雷サージ対応がされていないテーブルタップを使用してください。 ●電源コードの長いテーブルタップを使用している ➔ できるだけ電源コードが短いテーブルタップを使用してください。 ●他の電化製品による電気ノイズを受けている ➔ 電化製品の中には電気ノイズを発生するものがあります。 例えば、 充電器(携帯電話の充電器を含む)、ヘアードライヤー、掃除機、電気ドリル、調光機能付き照明器具やタッチランプ これらの電化製品は、できるだけアダプターから離れた電源コンセントで使用してください。 ●同一住宅に2個以上のマスターアダプターがある ➔ 同一の電力線上にマスターアダプターが2個以上あると、データ通信に影響を与えることがあります。マスターアダプターは、できる限り1台でお使いください。 ●同一住宅に別の規格のPLCアダプターがある場合、双方の装置ともに、通信速度の低下、または、通信できない場合がある ➔ できるだけ本製品から離れた場所で使用してください。または、どちらかの規格のPLCアダプターの使用を停止してください。

テレビやレコーダーについて

症 状	原因と対策
ドアホンとの操作ができない	●ドアホン用PLCアダプターとドアホン親機が正しく接続・設定されていない ➔ 正しく接続・設定してください。(☞26～30ページ) 確認後も操作ができない場合は、テレビやレコーダーの取扱説明書をお読みいただき、テレビやレコーダーでドアホンとのネットワーク接続と設定を確認してください。 ●マスターアダプターとテレビやレコーダーが正しく接続・設定されていない ➔ 正しく接続・設定してください。(☞31～33ページ) 確認後も操作ができない場合は、テレビやレコーダーの取扱説明書をお読みいただき、テレビやレコーダーでドアホンとのネットワーク接続と設定を確認してください。
今までドアホンとの操作ができていたのに、操作できなくなった	●ルーターの電源が入っていない ➔ ルーターの電源を入れてください。ルーターのDHCP機能により、各機器のIPアドレスが自動的に割り当てられると、ドアホンとの操作ができるようになります(IPアドレスの取得には、５分以上かかる場合があります)。ルーターの電源は常に入れた状態にしておいてください。 ●ルーターの再起動または電源を入れ直したため、各機器との通信ができなくなった ➔ ルーターの電源が入っていることを確認し、アダプターを再起動してください(☞44ページ)。次にテレビやレコーダーの電源を入れ直してください。
ドアホン用PLCアダプターをテレビやレコーダーに登録中、「ドアホンに登録できませんでした。ネットワークの接続、または、ドアホンをご確認ください。解決しない場合は、ドアホンの登録・変更を実行してください。」と表示された	●テレビやレコーダー、マスターアダプター、ドアホン用PLCアダプターとドアホン親機のいずれかが正しく接続・設定されていない ➔ 以下の接続と設定を確認してください。 ① ドアホン用PLCアダプターとドアホン親機の接続・設定(☞26～30ページ) ② マスターアダプターとテレビやレコーダーの接続(☞31ページ) ③ テレビやレコーダーのドアホン用PLCアダプターへの登録(☞32、33ページ) ④ テレビやレコーダー側のネットワーク接続と設定(☞テレビやレコーダーの取扱説明書)

症 状	原因と対策
ドアホン用PLCアダプターをテレビに登録中、「ドアホンに登録できませんでした。ドアホンに登録できる台数を超えています。」と表示された	● すでに2台のテレビがドアホン用PLCアダプターに登録されているときは登録できません。 ➔ ドアホン用PLCアダプターからテレビの登録情報を消去し(☞45ページ)、新たにテレビを登録(☞32ページ)してください。
テレビやレコーダーに表示・録画されたドアホン画像が青画面になる (映像が映っていない)	● ドアホン親機の映像出力端子とドアホン用PLCアダプターの映像入力端子に接続ケーブルがしっかり差し込まれていない ➔ 奥までしっかり差し込んでください。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このドアホン用PLCアダプターパックの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

57～65ページに従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は、**保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは、**修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ドアホン用 PLCアダプターパック
品　番	VL-SP880
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

- 停電、電力線上ノイズなどの外部要因により発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/pcc/contact/inquiry/la_index.html

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は…　06-6907-1187
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0907

■本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物(または技術)に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。

This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

■本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検　長年ご使用のドアホン用PLCアダプターパックの点検を！

こんな症状はありませんか	●電源コードや電源プラグが傷んでいる。 ●こげくさい臭いや異常な音がする。 ●内部に水や異物が入った。 ●その他の異常や故障がある。

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、電源コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販 売 店 名	電話(　　　)　　　―

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ホームネットワークカンパニー

〒812-8531　福岡市博多区美野島４丁目１番62号

PFQX2789YA SM0707SM1107